

令和6年度2月定例記者会見 次第

日時：2月20日（木）13時30分

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕朝日新聞社、糸島新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、
読売新聞社、NHK福岡放送局、時事通信社

〔糸島市〕市長、副市長、教育長、関係課（下記参照）

1 市長あいさつ

2 案件

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| ①令和7年糸島市議会第1回定例会提出議案について | 【市長発表】
総務課 |
| ②令和6年度糸島市補正予算の概要について | 【市長発表】
財政課 |
| ③令和7年度糸島市当初予算の概要について | 【市長発表】
財政課 |
| ④市民交流センターの開館について | 【市長発表】
公共施設管理課 |
| ⑤特別救助隊発足式の開催について | 消防総務課 |
| ⑥副業プロ人材活用事業者成果報告会の開催について | 商工振興課 |
| ⑦よみがえる糸島最古の弥生人
新町支石墓群出土人骨の復顔像を公開 | 文化課 |

3 懇談・その他

■次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：3月25日（火）13時30分～

場所：糸島市役所 庁議室

令和 7 年糸島市議会第 1 回定例会提出議案について

- ☆ 2 月 2 7 日から開会予定の糸島市議会第 1 回定例会に付議する議案を、本日送付いたしました。
- ☆ 案件といたしましては、諮問第 1 号「人権擁護委員の候補者の推薦について」から議案第 5 9 号「令和 7 年度糸島市下水道事業会計予算」までの 5 8 議案を提案させていただくこととしております。

※提出議案 5 8 件

◇ 人事案件〔2 3 件〕

- 人権擁護委員の候補者の推薦について
- 副市長の選任について
- 教育委員会委員の任命について
- 公平委員会委員の選任について
- 農業委員会委員の任命について（1 9 件）

◇ 協議議案〔1 件〕

- 福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合同約の変更について

◇ 条例議案〔1 3 件〕

【廃止条例 1 件】

- 糸島市国際交流基金条例を廃止する条例について

【新規条例 1 件】

- 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について

【一部改正条例 1 1 件】

- 糸島市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について
- 糸島市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び糸島市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
- 糸島市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 糸島市職員の給与に関する条例等の一部を改正する等の条例について
- 糸島市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例について
- 糸島市子ども医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例について
- 糸島市印鑑条例の一部を改正する条例について

糸島市公園条例の一部を改正する条例について
糸島市教育支援センター条例の一部を改正する条例について
糸島市布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例
について
糸島市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例
について

◇ その他の議案〔3件〕

辺地に係る公共的施設の総合整備計画について
工事請負契約の締結について（福岡都市圏消防通信指令業務の共同運用に係るデジタル
無線設置工事）
市道路線の認定について

◇ 補正予算〔8件〕

令和6年度糸島市一般会計補正予算（第9号）
令和6年度糸島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）
令和6年度糸島市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
令和6年度糸島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）
令和6年度糸島市渡船事業特別会計補正予算（第4号）
令和6年度糸島市二丈福吉財産区特別会計補正予算（第3号）
令和6年度糸島市水道事業会計補正予算（第4号）
令和6年度糸島市下水道事業会計補正予算（第6号）

◇ 当初予算〔10件〕

令和7年度糸島市一般会計予算
令和7年度糸島市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
令和7年度糸島市国民健康保険事業特別会計予算
令和7年度糸島市介護保険事業特別会計予算
令和7年度糸島市後期高齢者医療特別会計予算
令和7年度糸島市渡船事業特別会計予算
令和7年度糸島市二丈福吉財産区特別会計予算
令和7年度糸島市二丈一貴山財産区特別会計予算
令和7年度糸島市水道事業会計予算
令和7年度糸島市下水道事業会計予算

☆ 議案の内容といたしましては、

●人事案件（23件）

【総務課、人権・男女共同参画推進課】

諮問第1号 人権擁護委員の候補者の推薦について

※ 人権擁護委員の任期満了に伴い、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、市長が法務大臣に人権擁護委員の候補者を推薦するに当たり、議会の意見を求めるもの。

- ・松崎 敏明 （まつざき としあき、前原南校区、新任）
- ・令和7年7月1日から令和10年6月30日まで（3年間）

【総務課】

議案第3号 副市長の選任について

※ 副市長の任期満了に伴い、地方自治法第162条の規定により、市長が副市長を選任するに当たり、議会の同意を求めるもの。

- 任期 令和7年4月1日から令和11年3月31日まで（4年間）
- ・馬場 貢 （ばば みつぎ、再任）

【総務課、教育総務課】

議案第4号 教育委員会委員の任命について

※ 教育委員会委員の任期満了に伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、市長が委員を任命するに当たり、議会の同意を求めるもの。

- ・喜多村 明菜 （きたむら あきな、新任）
- ・令和7年3月5日から令和11年3月4日まで（4年間）

【総務課、監査事務局】

議案第5号 公平委員会委員の選任について

※ 公平委員会委員の任期満了に伴い、地方公務員法第9条の2第2項の規定により、市長が委員を選任するに当たり、議会の同意を求めるもの。

- 任期 令和7年3月9日から令和11年3月8日まで（4年間）
- ・福山 聖 （ふくやま ひじり、再任）

【総務課、農業委員会事務局】

議案第6号～議案第24号 農業委員会委員の任命について

※ 農業委員会委員の任期満了に伴い、農業委員会等に関する法律第8条第1項の規定により、市長が委員を任命するに当たり、議会の同意を求めるもの。（19名）

- ・池田 和知 （いけだ かずとも、新任）
- ・井上 孝治 （いのうえ たかはる、再任）

- ・内田 二三代 (うちだ ふみよ、新任)
- ・荻原 昌之 (おぎわら まさゆき、再任)
- ・鬼塚 浩一 (おにづか こういち、新任)
- ・梶塚 信弘 (かじづか のぶひろ、新任)
- ・加茂 和義 (かも かずよし、再任)
- ・古家 春利 (こが はるとし、再任)
- ・柴田 周作 (しばた しゅうさく、新任)
- ・柴田 知城 (しばた ともき、新任)
- ・宗 敏郎 (そう としろう、再任)
- ・中原 誠也 (なかはら せいや、再任)
- ・濱地 則夫 (はまち のりお、再任)
- ・平野 泰光 (ひらの やすみつ、新任)
- ・古家 貴喜 (ふるや たかき、再任)
- ・洞 一明 (ほら かずあき、新任)
- ・松尾 幸子 (まつお さちこ、再任)
- ・松尾 良英 (まつお よしひで、新任)
- ・山北 敬子 (やまきた けいこ、再任)
- ・令和7年4月1日から令和10年3月31日まで(3年間)

●協議議案(1件)

【総務課】

議案第25号 福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合同約の変更について

- ※ 令和7年3月31日を限り、下田川清掃施設組合が解散されることに伴い、福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数を減少し、福岡県市町村職員退職手当組合同約を変更するため、地方自治法第290条の規定により議会の議決を求めるものである。

●条例議案(13件)

〔廃止(1件)〕

【コミュニティ推進課】

議案第26号 糸島市国際交流基金条例を廃止する条例について

- ※ 糸島市国際交流基金を廃止するため、条例を廃止するもの。

〔新規(1件)〕

【総務課】

議案第27号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について

- ※ 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴い、関係条例の規定の整理を行うもの。

〔一部改正（１１件）〕

【情報政策課、子育て支援課】

議案第２８号 糸島市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について

※ 地方公共団体情報システムの標準化及び子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、個人番号の利用を行う事務の追加等をする必要があるため、条例を改正するもの。

【総務課】

議案第２９号 糸島市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び糸島市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

※ 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正に伴い、条例を改正するもの。

【子育て支援課】

議案第３０号 糸島市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

※ こどもの権利救済委員会を附属機関として設置することに伴い、条例を改正するもの。

【総務課】

議案第３１号 糸島市職員の給与に関する条例等の一部を改正する等の条例について

※ 職員の給与制度の見直しに伴い、条例を改正するもの。

【子ども課】

議案第３２号 糸島市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例について

※ 一貴山放課後児童クラブの位置を変更するため、条例を改正するもの。

【子ども課】

議案第３３号 糸島市子ども医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例について

※ 子ども医療費等の支給制度を見直し、高校生世代までのこどもを持つ家庭の経済的負担の軽減を図るため、条例を改正するもの。

【市民課】

議案第３４号 糸島市印鑑条例の一部を改正する条例について

※ 印鑑登録証明書の交付の手続きを見直すため、条例を改正するもの。

【都市施設課】

議案第３５号 糸島市公園条例の一部を改正する条例について

※ 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令の一部改正に伴い、条例を

改正するもの。

【学校教育課】

議案第36号 糸島市教育支援センター条例の一部を改正する条例について

※ 糸島市教育支援センターに置く職員を見直すため、条例を改正するもの。

【水道課】

議案第37号 糸島市布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例について

※ 水道法施行令の一部改正に伴い、条例を改正するもの。

【警備課】

議案第38号 糸島市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について

※ 消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部改正に伴い、消防団員退職報償金に新たな勤務年数区分を追加するため、条例を改正するもの。

●その他の議案（3件）

【コミュニティ推進課】

議案第39号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画について

※ 市営渡船ひめしまの改良及び姫島における通信施設整備を行うに当たり、財政上の特別措置を必要とするため、当該辺地に係る公共的施設の総合整備計画について、議会の議決を求めるもの。

【消防総務課】

議案第40号 工事請負契約の締結について（福岡都市圏消防通信指令業務の共同運用に係るデジタル無線設置工事）

※ 福岡都市圏消防通信指令業務の共同運用に係るデジタル無線設置工事を施工するため、工事請負契約を締結するに当たり、議会の議決を求めるもの。

契約の金額 2億5,521万8,394円

契約の相手方 福岡市

【建設課】

議案第41号 市道路線の認定について

※ 市道路線（1路線）を認定するため、議会の議決を求めるもの。

●令和6年度補正予算（8件）

【財政課】

議案第42号 令和6年度糸島市一般会計補正予算（第9号）

※ 今回の補正：7億9,715万3千円を減額し、予算総額485億6,388万7千円とする。

【別途財政課作成資料あり】

【国保年金課】

議案第43号 令和6年度糸島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）

※ 今回の補正：1億1,433万円を追加し、予算総額132億1,108万5千円とする。

【介護・高齢者支援課】

議案第44号 令和6年度糸島市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）

※ 今回の補正：2,209万1千円を減額し、予算総額94億960万2千円とする。

【国保年金課】

議案第45号 令和6年度糸島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）

※ 今回の補正：4,316万1千円を追加し、予算総額20億1,288万6千円とする。

【コミュニティ推進課】

議案第46号 令和6年度糸島市渡船事業特別会計補正予算（第4号）

※ 今回の補正：歳入予算内での款・項の組み替えを行うもの。

【水産林務課】

議案第47号 令和6年度糸島市二丈福吉財産区特別会計補正予算（第3号）

※ 今回の補正：21万8千円を追加し、予算総額277万3千円とする。

【業務課】

議案第48号 令和6年度糸島市水道事業会計補正予算（第4号）

※ 今回の補正：収益的収入及び支出の既決予定額の補正等

【業務課】

議案第49号 令和6年度糸島市下水道事業会計補正予算（第6号）

※ 今回の補正：収益的収入及び支出の既決予定額の補正等

●令和7年度当初予算（10件）

【財政課】

議案第50号 令和7年度糸島市一般会計予算

※ 予算総額を514億1,074万9千円とする。

【別途財政課作成資料あり】

【人権・男女共同参画推進課】

議案第51号 令和7年度糸島市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算

※ 予算総額を506万円とする。

【国保年金課】

議案第52号 令和7年度糸島市国民健康保険事業特別会計予算

※ 予算総額を129億1,678万9千円とする。

【介護・高齢者支援課】

議案第53号 令和7年度糸島市介護保険事業特別会計予算

※ 予算総額を89億9,217万7千円とする。

【国保年金課】

議案第54号 令和7年度糸島市後期高齢者医療特別会計予算

※ 予算総額を20億9,340万9千円とする。

【コミュニティ推進課】

議案第55号 令和7年度糸島市渡船事業特別会計予算

※ 予算総額を1億4,557万9千円とする。

【水産林務課】

議案第56号 令和7年度糸島市二丈福吉財産区特別会計予算

※ 予算総額を109万7千円とする。

【水産林務課】

議案第57号 令和7年度糸島市二丈一貴山財産区特別会計予算

※ 予算総額を46万8千円とする。

【業務課】

議案第58号 令和7年度糸島市水道事業会計予算

【業務課】

議案第59号 令和7年度糸島市下水道事業会計予算

◆問合せ先

総務部 総務課 (担当：藤嶋)

TEL 323-1111 (代表) 内線1210

332-2100 (直通)

令和6年度一般会計補正予算(第9号)等の概要 (令和7年 第1回定例会)

■一般会計補正予算(第9号)

補正額 ▲7億9,715万3千円

補正後予算総額 485億6,388万7千円

今回の補正予算は、主として、国の令和6年度補正予算(第1号)の成立に伴う関連予算、災害復旧に係る予算及び年度末に当たり各事務事業の精算による減額等の予算を計上しています。

主な事業は、以下のとおりです。

<補正予算に係る主な事業>

()は、所管課

【一般会計：歳出】

2款 総務費

◆P34~35 人事管理費 ▲1,647万円

○一般事務委託に係る単価の減額等による減額。

(総務課)

◆P36~37 庁舎維持管理費 303万6千円

○庁舎の使用電力量の増加に対応するため、光熱水費を増額。

(公共施設管理課)

3款 民生費

◆P48~49 特別会計関係費(国民健康保険事業特別会計) ▲3,849万円

○保険税軽減世帯数の減少に伴う国民健康保険事業特別会計繰出金の減額。

○財源：国庫支出金、県支出金 (国保年金課、健康づくり課)

◆ P50～51 障害福祉サービス事業費 **▲6,651万7千円**

○利用者等の増加に伴う就労移行支援の増額（587万7千円）及び就労継続支援、共同生活援助の精算による減額。

○財源：国庫支出金、県支出金（地域福祉課）

◆ P50～51 特別会計関係費（介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計） **▲5,620万9千円**

○令和5年度精算及び令和6年度事業費の減額に伴う介護保険事業特別会計繰出金の減額（2,669万8千円）及び保険料軽減世帯数の減少に伴う後期高齢者医療特別会計繰出金の減額（2,951万1千円）。

○財源：国庫支出金、県支出金（介護・高齢者支援課、国保年金課）

◆ P52～53 低所得者支援及び定額減税補足給付事業費 **▲2億4,801万2千円**

○支給対象者数等の確定による減額。

○財源：国庫支出金（税務課）

◆ P54～55 児童健全育成推進事業費 **▲88万2千円**

○こども家庭センターの開設に伴う需用費等の増額（2万6千円）及び子ども食堂等食材費高騰対策臨時応援事業等の精算による減額。

○財源：国庫支出金、県支出金（子育て支援課、子ども課、総務課）

◆ P56～57 子ども・子育て支援事業費 **3億5,081万3千円**

○公定価格の引き上げに伴う私立保育所及び認定こども園に対する施設型給付費等の増額。

○財源：国庫支出金、県支出金（子ども課）

◆ P56～57 障害児保育事業費 **2,421万9千円**

○私立保育所等における対象保育士数の増加による増額。（子ども課）

◆ P56～57 病児・病後児保育施設管理運営費 **624万9千円**

○国の補助基準額の増額及び利用者数の増加による増額。

○財源：国庫支出金、県支出金（子ども課）

◆ P60～61 生活保護各種扶助費 **▲4,036万2千円**

○生活保護世帯数の減少による減額。

○財源：国庫支出金、諸収入（福祉保護課）

4款 衛生費

◆ P60～61 予防接種事業費 **131万8千円**

○新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る予防接種健康被害救済費の増額（1,214万2千円）及び予防接種事業の精算等による減額。

○財源：国庫支出金（健康づくり課、子育て支援課）

◆ P 60～63 新型コロナウイルスワクチン定期接種事業費 ▲9,097万6千円

○新型コロナウイルスワクチン定期接種事業の精算による減額。

○財源：諸収入

(健康づくり課)

◆ P 62～63 ごみ焼却処理施設管理運営費 ▲2,128万円

○燃料費（コークス）単価の減少等に伴う減額。

○財源：諸収入

(環境政策課)

6 款 農林水産業費

◆ P 64～67 新規就農者支援事業費 ▲4,581万円

○新規就農者育成総合対策事業補助金等の確定による減額。

○財源：県支出金

(農業振興課、総務課)

◆ P 66～67 高収益型園芸農業関係費 ▲3,724万5千円

○活力ある高収益型園芸産地育成事業補助金の確定による減額。

○財源：県支出金

(農業振興課)

◆ P 66～67 生産振興対策関係費 ▲2,700万円

○ふくおかの畜産競争力強化対策事業補助金の採択結果に基づく減額。

○財源：県支出金

(農業振興課)

◆ P 66～67 農業施設整備事業費 ▲6,757万8千円

○排水機場遊水池浚渫事業等の確定による減額。

○財源：分担金及び負担金、県支出金、市債

(農地政策課)

◆ P 66～67 県営農地防災事業費 3,661万2千円

○国の令和6年度補正予算（第1号）の成立に伴う県営農地防災事業の増額。

○財源：市債

(農地政策課)

◆ P 70～71 漁港改修等事業費 0千円

○測量の結果、浚渫土量が増加したことによる委託料から工事請負費への組み替え。

(水産林務課)

8 款 土木費

◆ P 72～73 道路整備事業費 ▲1億2,199万7千円

○社会資本整備総合交付金配分額の確定による工事請負費等の減額。

○財源：国庫支出金、市債

(建設課、都市施設課)

10款 教育費

◆ P86～87 埋蔵文化財発掘調査事業費 ▲6,723万7千円

○発掘調査対象の減少による減額。

○財源：諸収入 (文化課)

11款 災害復旧費

◆ P90～91 河川災害復旧費 4,274万1千円

○台風10号及び令和6年11月豪雨により被災した河川の災害復旧費について、国の災害査定結果に基づく増額。

○財源：国庫支出金、市債 (建設課)

13款 諸支出金

◆ P92～93 減債基金積立金 1億2,743万7千円

○将来の臨時財政対策債の償還財源となる普通交付税を減債基金に積み立てるための増額。
(財政課)

◆ P92～93 企業版ふるさと納税基金積立金 1,335万9千円

○企業版ふるさと納税の寄附実績等による増額。

○財源：寄附金 (企画秘書課)

【一般会計：歳入】

1 款 市税

◆ P14~15 個人市民税（所得割） 5,000万円

○納税義務者（給与所得）の所得増による増額。 (税務課)

◆ P14~15 法人市民税（法人税割） 2,000万円

○企業業績の向上による増額。 (税務課)

◆ P14~15 固定資産税（家屋） 4,000万円

○新築家屋の増加による増額。 (税務課)

7 款 地方消費税交付金

◆ P14~17 地方消費税交付金 1億円

○決算見込みによる増額。 (財政課)

1 1 款 地方交付税

◆ P16~17 普通地方交付税 4億2,518万1千円

○普通交付税再算定による増額。 (財政課)

1 5 款 国庫支出金

◆ P18~21 国庫負担金、国庫補助金 ▲1億4,086万円

○子どものための教育・保育給付費等の増額及び決算見込みによる減額。
(福祉保護課、子ども課、子育て支援課等)

1 6 款 県支出金

◆ P20~25 県負担金、県補助金等 ▲1億3,519万8千円

○農業用施設災害復旧事業等の増額及び決算見込みによる減額。
(企画秘書課、農地政策課、農業振興課、子ども課等)

19款 繰入金

◆P26～29 基金繰入金 ▲10億8,315万6千円

○臨時財政対策債の償還財源とするため、減債基金繰入金を増額するとともに、財源調整のため、財政調整基金繰入金を減額します。 (財政課等)

22款 市債

◆P30～33 合併推進債他 ▲3,600万円

○都市計画債等の増額及び決算見込みによる減額。
(都市施設課、建設課、農地政策課、水産林務課、教育総務課等)

■第2表 継続費補正 P6

変更 1件

■第3表 繰越明許費補正 P7

追加 7件、変更 1件

■第4表 債務負担行為補正 P8

追加 3件、変更 8件

■第5表 地方債補正 P9～10

追加 6件、変更 17件、廃止 2件

《特別會計等》

■国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）

補正額 1億1,433万円追加
補正後予算総額 132億1,108万5千円

■介護保険事業特別会計補正予算（第4号）

補正額 ▲2,209万1千円
補正後予算総額 94億960万2千円

■後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）

補正額 4,316万1千円追加
補正後予算総額 20億1,288万6千円

■渡船事業特別会計補正予算（第4号）

補正額 -
補正後予算総額 1億617万7千円

■二丈福吉財産区特別会計補正予算（第3号）

補正額 21万8千円追加
補正後予算総額 277万3千円

■水道事業会計補正予算（第4号）

収益の収入 ▲44万9千円
収益の支出 ▲1万6千円
資本の収入 ▲730万3千円
資本の支出 136万3千円追加

■下水道事業会計補正予算（第6号）

収益の収入 642万2千円追加
収益の支出 ▲1,064万9千円
資本の収入 ▲1億4,391万1千円
資本の支出 ▲1億2,716万1千円

令和7年度糸島市当初予算(案)の概要



令和7年2月

経営戦略部財政課

目 次

I 令和7年度糸島市予算の総括	1
II 令和7年度一般会計当初予算の概要	
1 歳入	3
2 歳出	6
3 基金の状況等(一般会計)	11
4 市債の状況等	13
5 主な新規・拡充事業	16

※本資料において、令和4年度は、骨格予算として編成したことから、6月補正後の予算額を比較に用いています。6月補正後の予算額とは、一般会計においては補正予算(第3号)後の歳入歳出予算、住宅新築資金等貸付事業特別会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、渡船事業特別会計、二丈福吉財産区特別会計、二丈一貴山財産区特別会計においては当初予算(骨格予算)の歳入歳出予算、介護保険事業特別会計においては補正予算(第1号)後の歳入歳出予算としています。

また、水道事業会計においては当初予算、下水道事業会計においては補正予算(第1号)後の収益的支出と資本的支出を合わせた総額としています。

※各計数は、端数を四捨五入しているため、合計等が一致しない場合があります。

I 令和7年度糸島市予算の総括

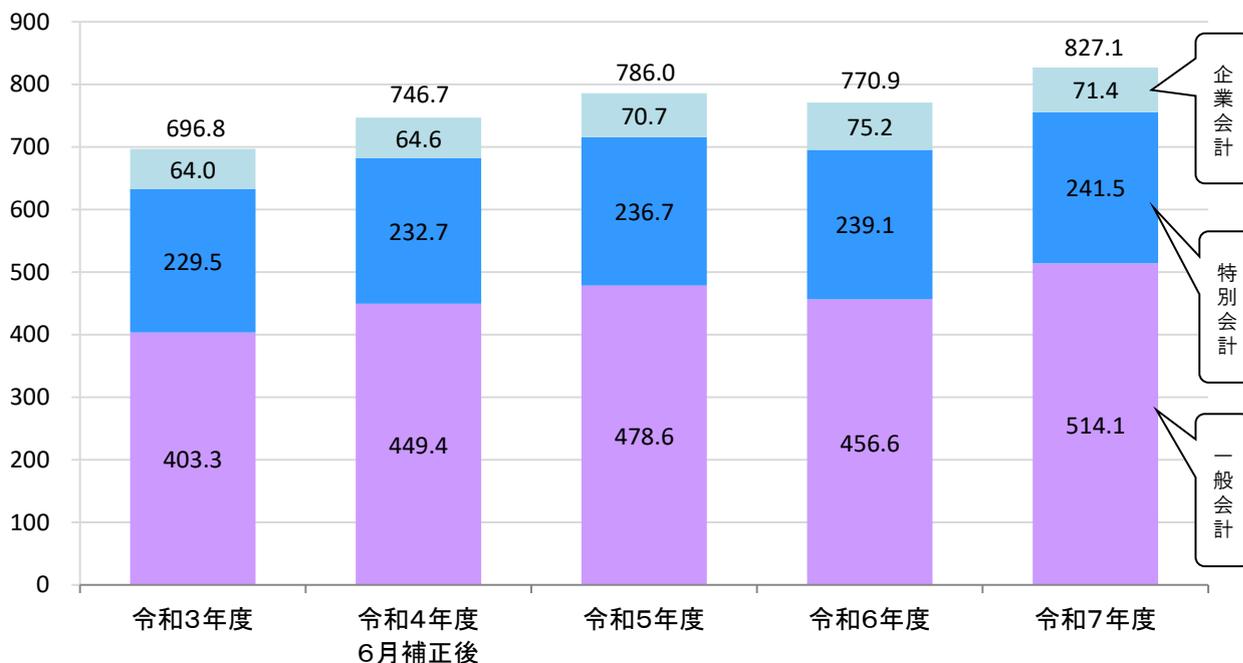
(単位:千円)

会計名	令和7年度	令和6年度	R7-R6		
			増減額	増減率	
一般会計	51,410,749	45,663,978	5,746,771	12.6%	
特別会計	住宅新築資金等貸付事業特別会計	5,060	9,083	△ 4,023	△44.3%
	国民健康保険事業特別会計	12,916,789	13,057,793	△ 141,004	△1.1%
	介護保険事業特別会計	8,992,177	8,795,040	197,137	2.2%
	後期高齢者医療特別会計	2,093,409	1,935,781	157,628	8.1%
	渡船事業特別会計	145,579	102,429	43,150	42.1%
	二丈福吉財産区特別会計	1,097	2,290	△ 1,193	△52.1%
	二丈一貴山財産区特別会計	468	1,880	△ 1,412	△75.1%
企業会計	水道事業会計	3,099,179	2,886,892	212,287	7.4%
	下水道事業会計	4,043,828	4,636,902	△ 593,074	△12.8%
予算総額	82,708,335	77,092,068	5,616,267	7.3%	

※企業会計については、会計方式が異なるため、収益的支出と資本的支出を合わせた総額を予算規模とみなしています。

【予算規模の推移】

(単位:億円)



各会計の概要

■ 一般会計

予算総額は、514億1,074万9千円で、前年度に比べ57億4,677万1千円、12.6%の増となり、予算規模は過去最大となりました。

歳出は、子ども医療費助成拡充事業などの扶助費や、小中学校大規模改造事業などの普通建設事業費が大幅に増加したほか、物価高騰等の影響により、人件費や物件費などが増加しています。

歳入は、市民税、固定資産税の増などにより市税が過去最高額となったほか、歳出の増に伴い、国庫支出金、繰入金、市債などが増加しています。

■ 住宅新築資金等貸付事業特別会計

予算総額は、506万円で、前年度に比べ402万3千円、44.3%の減となりました。これは、諸支出金が421万円減少したことなどによるものです。

■ 国民健康保険事業特別会計

予算総額は、129億1,678万9千円で、前年度に比べ1億4,100万4千円、1.1%の減となりました。これは、療養給付費など保険給付費が7,255万2千円減少したことなどによるものです。

■ 介護保険事業特別会計

予算総額は、89億9,217万7千円で、前年度に比べ1億9,713万7千円、2.2%の増となりました。これは、保険給付費が1億7,686万3千円増加したことなどによるものです。

■ 後期高齢者医療特別会計

予算総額は、20億9,340万9千円で、前年度に比べ1億5,762万8千円、8.1%の増となりました。これは、後期高齢者医療広域連合納付金が1億5,276万1千円増加したことなどによるものです。

■ 渡船事業特別会計

予算総額は、1億4,557万9千円で、前年度に比べ4,315万円、42.1%の増となりました。これは、運航費が6,710万6千円増加したことなどによるものです。

■ 二丈福吉財産区特別会計

予算総額は、109万7千円で、前年度に比べ119万3千円、52.1%の減となりました。これは、諸支出金が113万2千円減少したことなどによるものです。

■ 二丈一貴山財産区特別会計

予算総額は、46万8千円で、前年度に比べ141万2千円、75.1%の減となりました。これは、管理費が143万2千円減少したことによるものです。

■ 水道事業会計

収益的支出と資本的支出の合計額は、30億9,917万9千円で、前年度に比べ2億1,228万7千円、7.4%の増となりました。

今年度は、原水施設整備事業や配水施設整備事業、第8次拡張事業、重要給水施設配水管整備事業などを実施します。

■ 下水道事業会計

収益的支出と資本的支出の合計額は、40億4,382万8千円で、前年度に比べ5億9,307万4千円、12.8%の減となりました。

今年度は、下水管路の整備や下水道施設(処理場・管渠)の更新などを実施します。

Ⅱ 令和7年度一般会計当初予算の概要

1 歳入

市税は、市民税、固定資産税の増などにより、8億4,987万6千円、8.3%の増であり、過去最高額となっています。

配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金は、国の地方財政対策などにおける県税の増加見込みを踏まえた増となっています。

地方特例交付金は、定額減税に係る減収補填分の交付金の減などにより、4億625万3千円、73.4%の大幅減となっています。

国庫支出金は、就学前教育・保育施設整備事業などが減となった一方で、国の制度改正に伴う児童手当及び児童扶養手当に係る国庫負担金の増などにより、11億2,073万1千円、13.7%の増となっています。

繰入金は、ふるさと応援基金繰入金、公共施設等総合管理推進基金繰入金、減債基金繰入金などの増により、17億6,288万7千円、45.2%の増となっています。

市債は、臨時財政対策債や合併推進債などが減となった一方で、小中学校大規模改造事業、ごみ処理施設(クリーンセンター)改修事業、伊都文化会館改修事業などの増により、15億180万円、66.9%の増となっています。

(1) 歳入明細

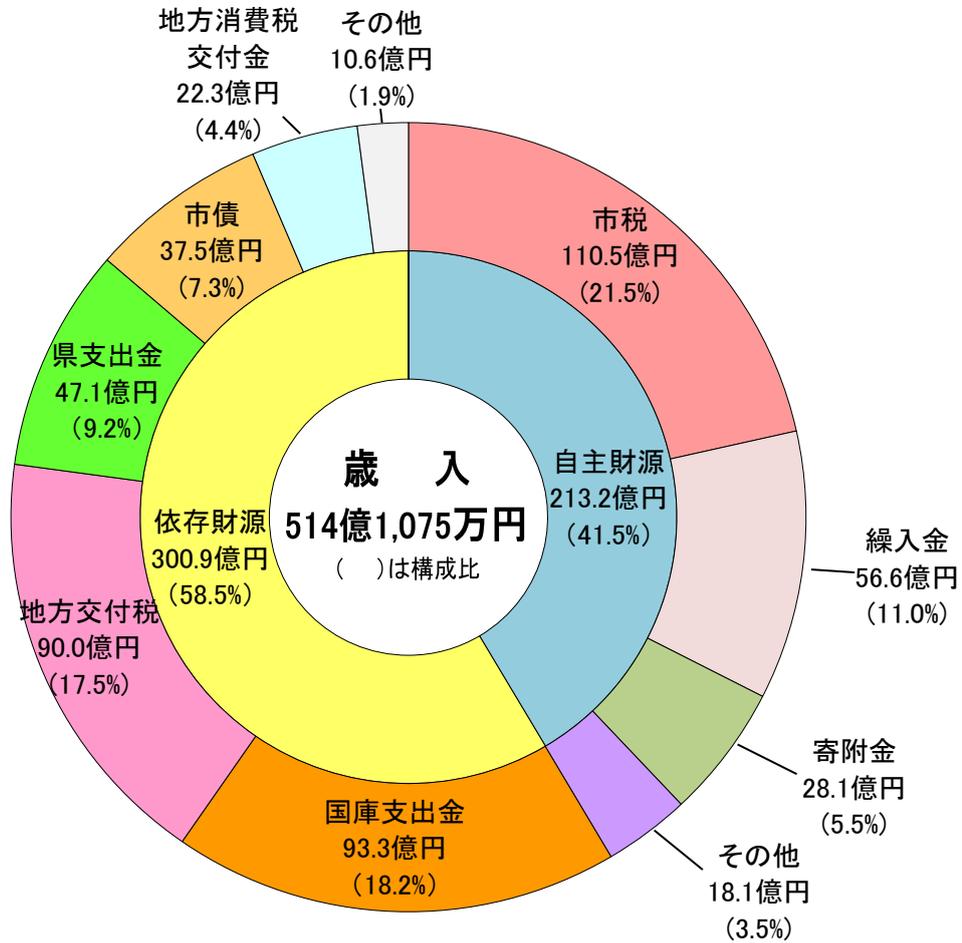
(単位:千円、%)

款名	令和7年度		令和6年度		R7-R6	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 市 税	11,045,780	21.5	10,195,904	22.3	849,876	8.3
2 地 方 譲 与 税	378,270	0.7	374,758	0.8	3,512	0.9
3 利 子 割 交 付 金	6,000		6,000			
4 配 当 割 交 付 金	71,000	0.1	60,000	0.1	11,000	18.3
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	126,000	0.2	60,000	0.1	66,000	110.0
6 法 人 事 業 税 交 付 金	166,000	0.3	147,000	0.3	19,000	12.9
7 地 方 消 費 税 交 付 金	2,234,000	4.4	2,100,000	4.6	134,000	6.4
8 ゴルフ場利用税交付金	89,000	0.2	87,000	0.2	2,000	2.3
9 環 境 性 能 割 交 付 金	70,000	0.1	50,000	0.1	20,000	40.0
10 地 方 特 例 交 付 金	147,590	0.3	553,843	1.2	△ 406,253	△ 73.4
11 地 方 交 付 税	8,999,000	17.5	8,759,000	19.2	240,000	2.7
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	11,000		13,000		△ 2,000	△ 15.4
13 分 担 金 及 び 負 担 金	164,186	0.3	185,341	0.4	△ 21,155	△ 11.4
14 使 用 料 及 び 手 数 料	635,757	1.2	641,348	1.4	△ 5,591	△ 0.9
15 国 庫 支 出 金	9,329,671	18.2	8,208,940	18.0	1,120,731	13.7
16 県 支 出 金	4,712,004	9.2	4,445,394	9.8	266,610	6.0
17 財 産 収 入	133,462	0.3	169,424	0.4	△ 35,962	△ 21.2
18 寄 附 金	2,807,800	5.5	2,806,015	6.2	1,785	0.1
19 繰 入 金	5,664,291	11.0	3,901,404	8.6	1,762,887	45.2
20 繰 越 金	200,000	0.4	200,000	0.4		
21 諸 収 入	673,438	1.3	454,907	1.0	218,531	48.0
22 市 債	3,746,500	7.3	2,244,700	4.9	1,501,800	66.9
歳 入 合 計	51,410,749	100.0	45,663,978	100.0	5,746,771	12.6

* 表示単位未満を端数処理しているため、構成比の合計が一致しないことがあります。

(2) 歳入構成

歳入は、一番大きな割合を占める市税をはじめとした自主財源と、地方交付税や国庫支出金等の依存財源から構成されています。市税が過去最高額となったこともあり、前年度に比べ、自主財源比率は増加しています。



※表内の構成比については端数の調整を行っていません。このため、合計が100%にならないことがあります。

令和6年度	自主財源 185.5億円 40.7%	依存財源 271.1億円 59.3%
	自主財源比率0.8ポイント増	依存財源比率0.8ポイント減
令和7年度	自主財源 213.2億円 41.5%	依存財源 300.9億円 58.5%

自主財源: 地方公共団体が自らの権能に基づいて自主的に調達する財源です。
地方税、分担金・負担金、使用料・手数料、繰入金、財産収入、寄附金、繰越金など。

依存財源: 国や県等から調達する財源で、その額や内容は国・県等で定める基準によって行われるものです。
地方交付税、地方譲与税、国庫支出金、県支出金、市債など。

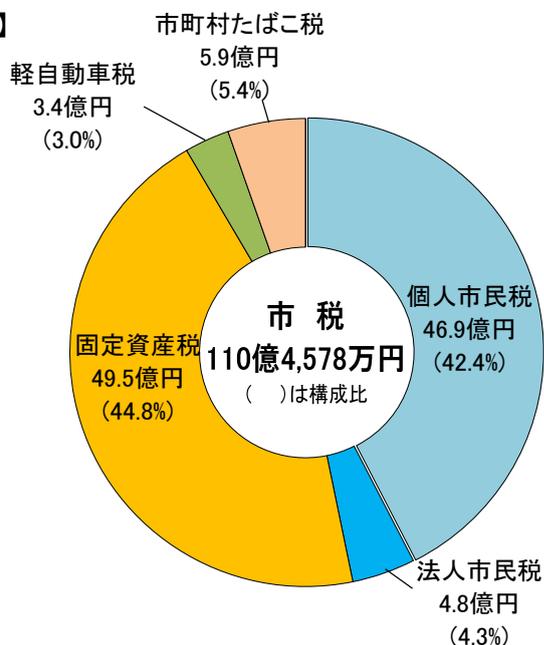


(3)市税の状況(滞納繰越分を含む)

(単位:千円、%)

科 目	令和7年度	令和6年度	R7-R6	
			増減額	増減率
市 民 税	5,162,540	4,517,009	645,531	14.3
個 人	4,685,605	4,116,853	568,752	13.8
法 人	476,935	400,156	76,779	19.2
固 定 資 産 税	4,950,751	4,749,810	200,941	4.2
純 固 定 資 産 税	4,932,650	4,731,206	201,444	4.3
国 有 資 産 等 交 付 金	18,101	18,604	△ 503	△ 2.7
軽 自 動 車 税	335,123	321,452	13,671	4.3
市 町 村 た ば こ 税	594,246	603,230	△ 8,984	△ 1.5
入 湯 税	3,120	4,403	△ 1,283	△ 29.1
合 計	11,045,780	10,195,904	849,876	8.3

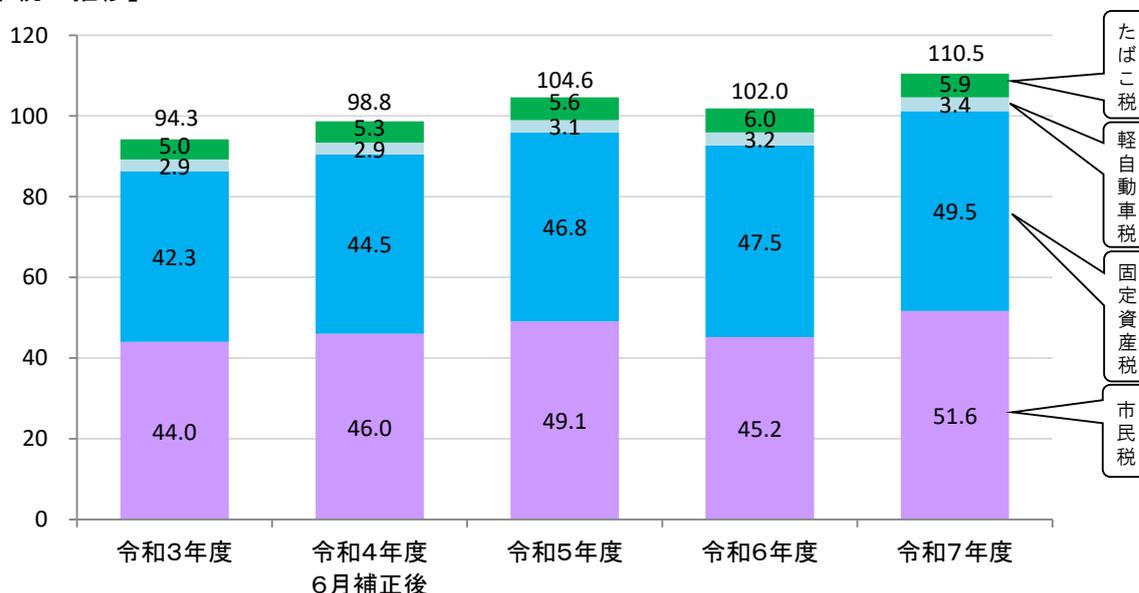
【令和7年度の状況】



※表内の構成比については端数の調整を行っていません。このため、合計が100%にならないことがあります。

【市税の推移】

(単位:億円)



2 歳出

(1) 目的別予算の状況

款ごとにみると、労働費、農林水産業費は前年度より減となった一方で、その他の款は前年度より増となっています。

総務費は、(仮称)市民・人権センター改造事業、新庁舎整備事業などが減となった一方で、姫島高度無線環境整備事業、標準準拠システム構築・移行事業、公共施設包括管理業務委託事業、男女共同参画センター解体事業などの増により、5億8,537万5千円、9.5%の増となっています。

民生費は、児童手当・児童扶養手当支給事業、施設型給付事業(認定こども園分)のほか、人権センター解体事業などの増により、22億6,835万1千円、12.0%の増となっています。

衛生費は、ごみ処理施設(クリーンセンター)設備改修事業、带状疱疹ワクチン定期接種事業などの増により、6億8,408万5千円、19.7%の増となっています。

消防費は、消防救急デジタル無線設備共同整備事業、水槽付消防ポンプ自動車整備事業などの増により、3億6,618万4千円、25.1%の増となっています。

教育費は、小中学校大規模改造事業、伊都文化会館照明設備改修事業、歴史博物館大規模改修事業などの増により、13億6,209万1千円、29.7%の増となっています。

(単位:千円、%)

款名	令和7年度		令和6年度		R7-R6	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 議会費	262,608	0.5	258,719	0.6	3,889	1.5
2 総務費	6,770,771	13.2	6,185,396	13.5	585,375	9.5
3 民生費	21,126,266	41.1	18,857,915	41.3	2,268,351	12.0
4 衛生費	4,155,941	8.1	3,471,856	7.6	684,085	19.7
5 労働費	20,812		20,824		△ 12	△ 0.1
6 農林水産業費	1,798,560	3.5	1,850,898	4.1	△ 52,338	△ 2.8
7 商工費	379,987	0.7	295,454	0.7	84,533	28.6
8 土木費	1,932,883	3.8	1,650,379	3.6	282,504	17.1
9 消防費	1,826,533	3.6	1,460,349	3.2	366,184	25.1
10 教育費	5,942,727	11.6	4,580,636	10.0	1,362,091	29.7
11 災害復旧費	21,900		21,000		900	4.3
12 公債費	3,150,601	6.1	3,137,037	6.9	13,564	0.4
13 諸支出金	3,951,721	7.7	3,804,777	8.3	146,944	3.9
14 予備費	69,439	0.1	68,738	0.2	701	1.0
歳出合計	51,410,749	100.0	45,663,978	100.0	5,746,771	12.6

* 表示単位未満を端数処理しているため、構成比が一致しないことがあります。

(2) 目的別分類の状況

目的別分類は、歳出の内訳事業の行政目的によって区分するものです。

民生費は、生活保護や高齢者・児童・障害者福祉、国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療の特別会計への繰出金等に係る経費で、歳出総額の41.1%を占めています。

総務費は、選挙、税の賦課徴収、戸籍住民関係、庁舎管理等に係る経費で、歳出総額の13.2%を占めています。

教育費は、学校施設や文化財整備のほか、図書館や社会体育施設等に係る経費で歳出総額の11.6%を占めています。

衛生費は、がん検診や予防接種等の健康増進、火葬やごみ・し尿処理、水道事業への補助等に係る経費で歳出総額の8.1%を占めています。

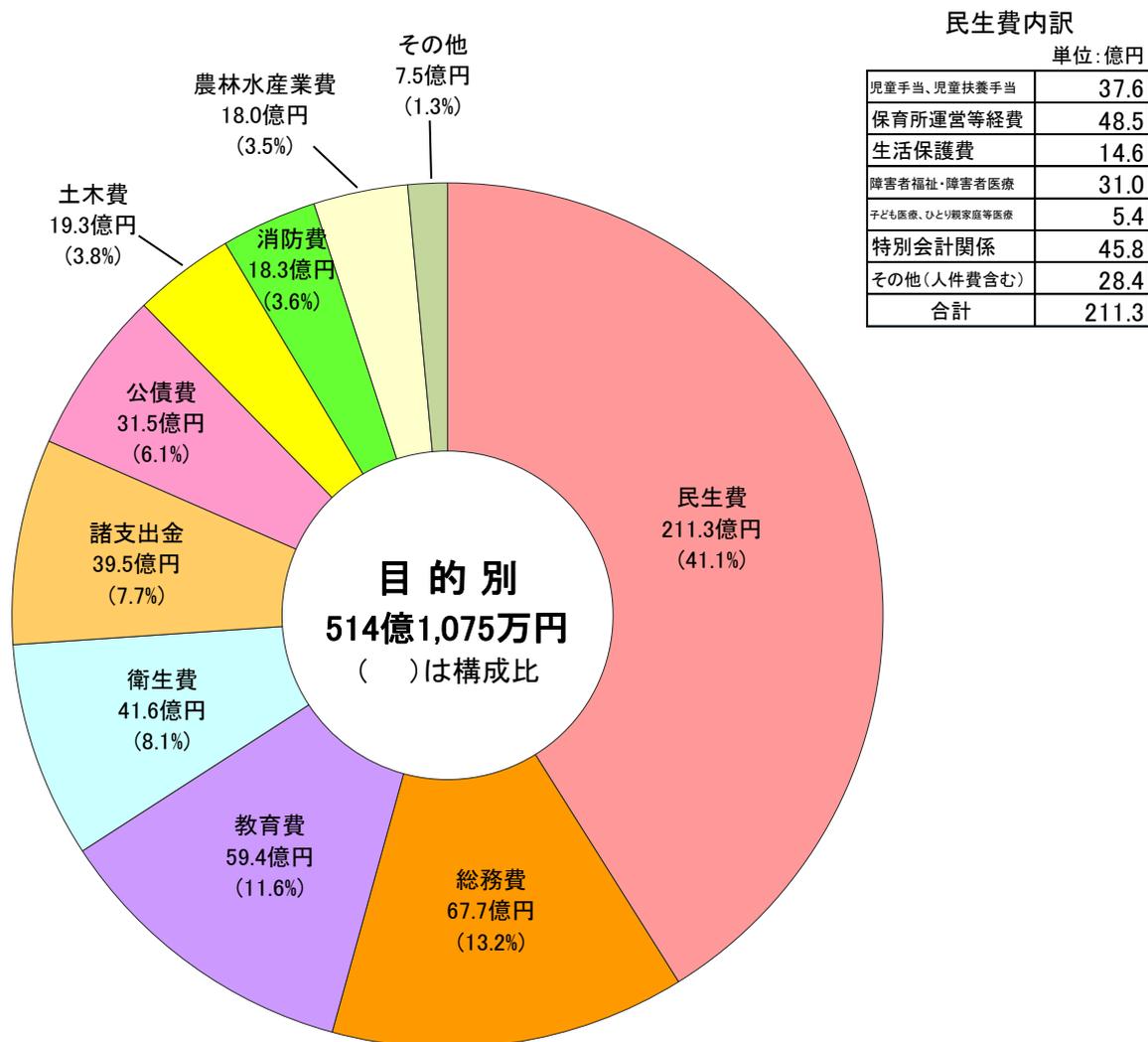
諸支出金は、下水道事業への補助金、各種基金積立金等の経費で歳出総額の7.7%を占めています。

公債費は、地方債等借入金の返済に充てる経費で、歳出総額の6.1%を占めています。

土木費は、道路橋りょうや都市公園等の都市インフラ整備に係る経費で、歳出総額の3.8%を占めています。

消防費は、消防本部、消防団等に係る経費で、歳出総額の3.6%を占めています。

農林水産業費は、農業、林業、水産業振興に係る経費で、歳出総額の3.5%を占めています。



※表内の構成比については端数の調整を行っていません。このため、合計が100%にならないことがあります。

(3) 性質別予算の状況

義務的経費は、人件費、扶助費、公債費といった支出が法令などで義務付けられ、任意に削減することができない性質の経費で、予算総額に占める割合が46.7%と約半分を占めている状況です。

人件費は、給料や期末勤勉手当の改定による増のほか、会計年度任用職員の報酬や期末勤勉手当などの増により、3億22万8千円、5.0%の増となっています。

扶助費は、児童手当・児童扶養手当支給事業、施設型給付事業(認定こども園分)、障害者介護給付費、障害児通所給付費、子ども医療費助成拡充事業などの増により、20億686万9千円、15.9%の増となっています。

公債費は、元利償還金の増により、1,356万4千円、0.4%の増となっています。

投資的経費は、(仮称)市民・人権センター改造事業などが減となった一方で、小中学校大規模改造事業、ごみ処理施設(クリーンセンター)設備改修事業、伊都文化会館照明設備改修事業、姫島高度無線環境整備事業、歴史博物館大規模改修事業などの増により、15億6,515万9千円、28.2%の増となっています。

その他の経費のうち物件費は、標準準拠システム構築・移行事業、公共施設包括管理業務委託事業などの増により、13億4,796万9千円、18.3%の増となっています。

補助費等は、障がい児保育支援事業、糸島市長市議会議員選挙費、地方バス路線運行事業などの増により、1億8,762万7千円、6.4%の増となっています。

積立金は、公共施設等の計画的な建設、改修、除却を推進するための財源を確保するため、公共施設等総合管理推進基金に1億4,000万円を積み立てることから、1億4,253万7千円、4.9%の増となっています。

(単位:千円、%)

性質別区分	令和7年度		令和6年度		R7-R6	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	24,025,174	46.7	21,704,513	47.6	2,320,661	10.7
1 人 件 費	6,275,670	12.2	5,975,442	13.1	300,228	5.0
2 扶 助 費	14,598,903	28.4	12,592,034	27.6	2,006,869	15.9
3 公 債 費	3,150,601	6.1	3,137,037	6.9	13,564	0.4
投資的経費	7,116,681	13.8	5,551,522	12.1	1,565,159	28.2
4 普 通 建 設 事 業 費	7,094,781	13.8	5,530,522	12.1	1,564,259	28.3
補 助	1,565,036	3.1	2,287,505	5.0	△ 722,469	△ 31.6
単 独	5,252,748	10.2	3,008,324	6.6	2,244,424	74.6
県 営 ・ 受 託	276,997	0.5	234,693	0.5	42,304	18.0
5 災 害 復 旧 事 業 費	21,900		21,000		900	4.3
6 失 業 対 策 事 業 費						
その他の経費	20,268,894	39.5	18,407,943	40.3	1,860,951	10.1
7 物 件 費	8,711,073	17.0	7,363,104	16.1	1,347,969	18.3
8 維 持 補 修 費	209,725	0.4	178,522	0.4	31,203	17.5
9 補 助 費 等	3,126,630	6.1	2,939,003	6.4	187,627	6.4
10 積 立 金	3,079,446	6.0	2,936,909	6.4	142,537	4.9
11 投 資 及 び 出 資 金 ・ 貸 付 金	395,738	0.8	434,575	1.0	△ 38,837	△ 8.9
12 繰 出 金	4,676,843	9.1	4,487,092	9.8	189,751	4.2
13 予 備 費	69,439	0.1	68,738	0.2	701	1.0
歳 出 合 計	51,410,749	100.0	45,663,978	100.0	5,746,771	12.6

* 表示単位未満を端数処理しているため、構成比の合計が一致しないことがあります。

(4) 性質別分類の状況

性質別分類とは、歳出の内訳事業を経済的性質によって分野ごとに区分するものです。

扶助費は、生活保護や高齢者・児童・障害者福祉費などの社会福祉などに係る経費で、歳出総額の28.4%を占めています。

人件費は、職員、議員、各種委員などにかかる経費で、歳出総額の12.2%を占めています。

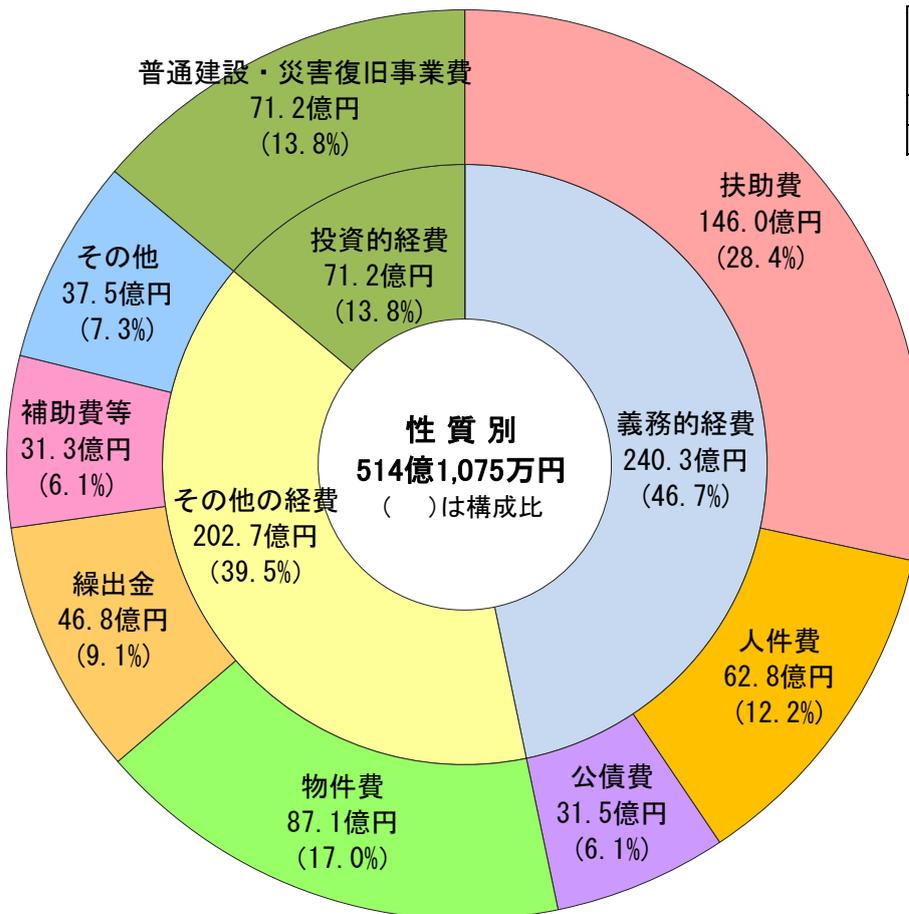
公債費は、地方債等借入金の返済に充てる経費で、歳出総額の6.1%を占めています。

物件費は、光熱水費や事務用品の購入、事務事業の委託などにかかる経費で、歳出総額の17.0%を占めています。

繰出金は、国民健康保険事業や介護保険事業、後期高齢者医療、渡船事業の特別会計への経費で、歳出総額の9.1%を占めています。

補助費等は、各種団体への補助金や負担金、上下水道事業への繰出金などで、歳出総額の6.1%を占めています。

普通建設・災害復旧事業費は、学校、庁舎等の公共施設や道路橋りょうなどの都市基盤整備に係る経費で、歳出総額の13.8%を占めています。



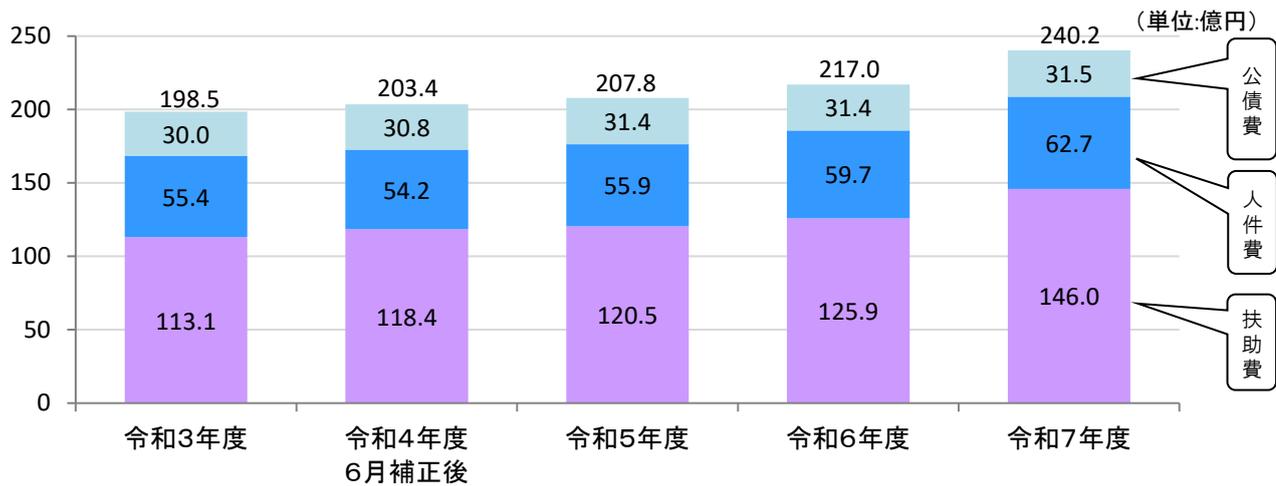
扶助費内訳

単位：億円

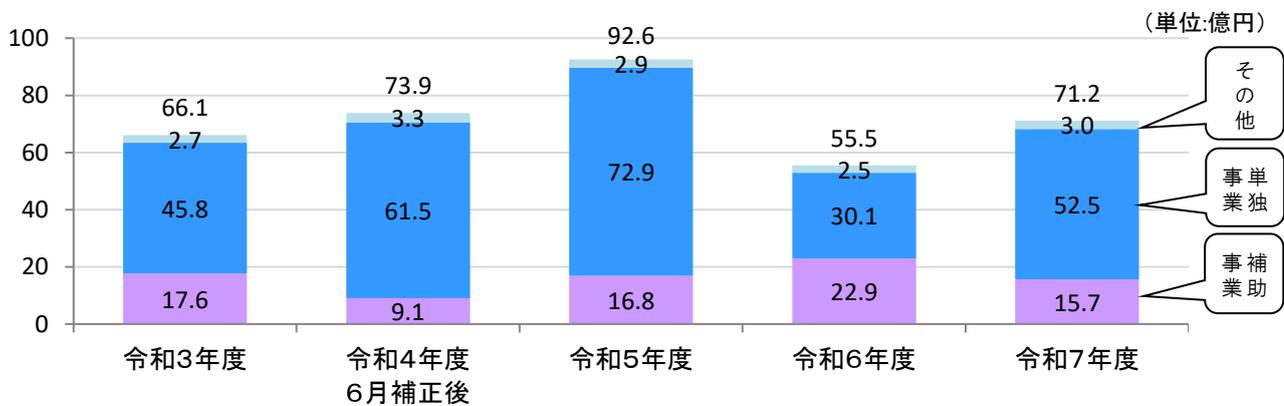
民生費	社会福祉費	30.3
	児童福祉費	94.6
	生活保護費	14.4
	その他	6.7
	合計	146.0

※表内の構成比については端数の調整を行っていません。このため、合計が100%にならないことがあります。

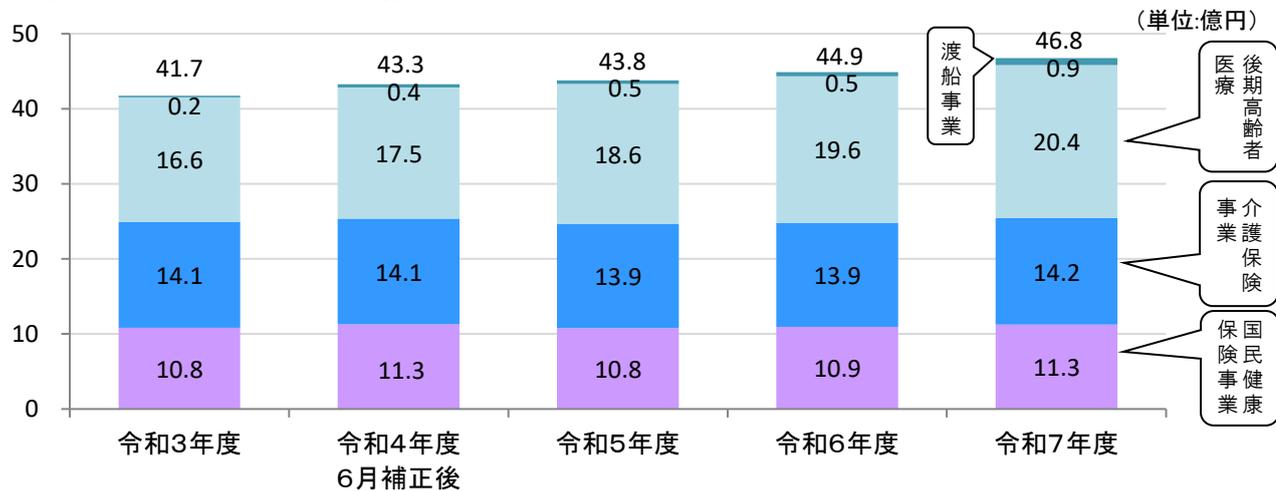
(5) 義務的経費の推移



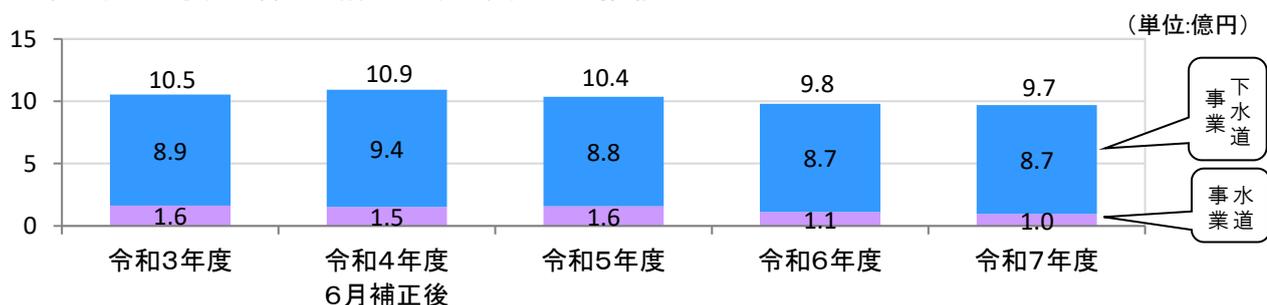
(6) 普通建設事業費・災害復旧事業費の推移



(7) 特別会計への繰出金等の推移(後期高齢者医療療養給付費負担金を含む)



(8) 企業会計に対する繰出(補助金、出資金)の推移



3 基金の状況等(一般会計)

令和7年度は、財政調整基金からの繰入れを20億4,100万円行います。
 また、公共施設等総合管理計画のアクションプランに基づく事業について、公共施設等総合管理推進基金からの繰入れを5億1,224万8千円行います。
 なお、一般会計全体では、56億2,266万1千円の繰入れを行い、令和7年度当初予算における基金残高見込みは150億7,078万4千円となっています。

(1) 基金繰入の状況

(単位:千円)

区 分	令和3年度 当初予算	令和4年度 6月補正後	令和5年度 当初予算	令和6年度 当初予算	令和7年度 当初予算
財政調整基金	471,000	714,000	1,160,000	1,109,000	2,041,000
公共施設等総合管理推進基金	862,039	366,833	1,131,144	267,610	512,248
減債基金	0	0	0	0	133,354
その他特定目的基金	1,212,049	1,880,503	2,147,140	2,483,879	2,936,059
合 計	2,545,088	2,961,336	4,438,284	3,860,489	5,622,661

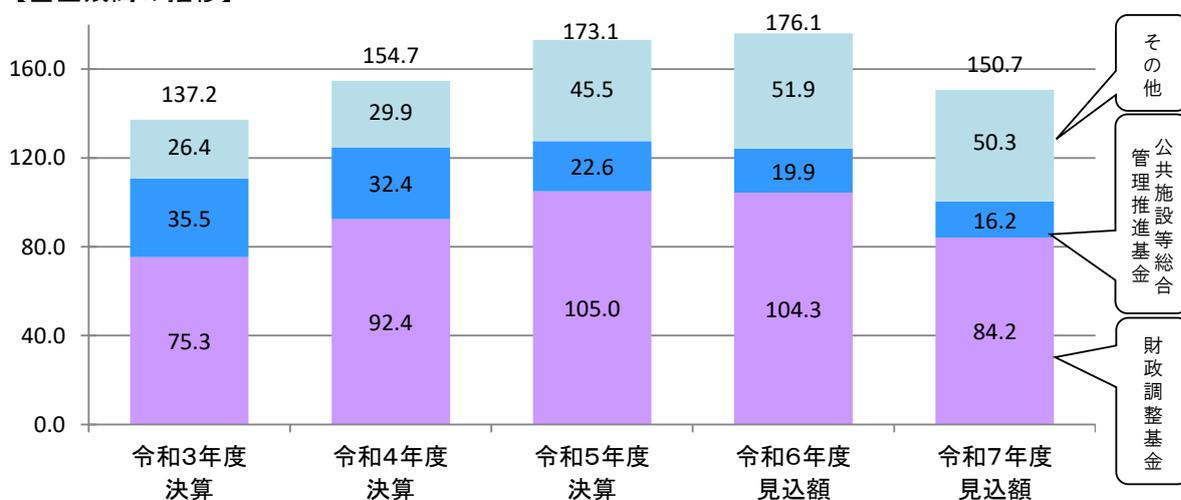
(2) 基金残高の状況

(単位:千円)

区 分	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 見込額	令和7年度 見込額
財政調整基金	7,532,228	9,237,611	10,497,410	10,433,394	8,421,194
公共施設等総合管理推進基金	3,553,347	3,243,136	2,255,977	1,989,296	1,624,648
減債基金	463,339	464,265	1,136,306	1,206,332	1,076,298
その他特定目的基金	2,169,425	2,529,469	3,424,707	3,984,977	3,948,644
合 計	13,718,339	15,474,481	17,314,400	17,613,999	15,070,784

【基金残高の推移】

(単位:億円)



(3)基金の一覧(一般会計)

(単位:千円)

基金名	令和6年度末 (見込)	令和7年度		令和7年度末 (見込)	
		積立	取崩し		
財政調整基金	10,433,394	28,800	2,041,000	8,421,194	
減債基金	1,206,332	3,320	133,354	1,076,298	
その他 特定 目的 基金	ふるさと応援基金	3,719,322	2,800,793	2,823,071	3,697,044
	企業版ふるさと納税基金	14,472	10	3,841	10,641
	水源保全基金	68,498	13,492	14,800	67,190
	森林環境譲与税基金	42,254	35,077	23,342	53,989
	災害活動等支援基金	21,138	6	0	21,144
	公共施設等総合管理推進基金	1,989,296	147,600	512,248	1,624,648
	再生可能エネルギー推進基金	99,162	24,195	36,558	86,799
	宿泊税基金	20,131	26,153	34,447	11,837
合計	17,613,999	3,079,446	5,622,661	15,070,784	

■ 財政調整基金

年度間の財源の調整、その他財政の健全な運営のために設置。経済事情の著しい変動等による財源不足、災害により生じた経費、緊急な大規模建設事業、市債の繰上償還等の財源に充てる。

■ 減債基金

市債の償還及びその適正管理のために設置。経済事情の著しい変動等による財源不足、市債の繰上償還等に充てる。

■ ふるさと応援基金

まちづくりに賛同する人々から寄附金を募り、個性豊かで活力あるまちづくりに資するために設置。子育て環境、教育の充実、コミュニティの活性化、災害対策、地域福祉の推進、農林水産業の振興、都市機能の充実等の財源に充てる。

■ 企業版ふるさと納税基金

糸島市まち・ひと・しごと創生推進計画に基づき、官民連携によるまちづくりを推進し、地域のよりよい暮らしの実現に資するために設置。その財源に充てる。

■ 水源保全基金

水源の保全及びかん養機能の向上等を図る事業を行うために設置。その財源に充てる。

■ 森林環境譲与税基金

森林の整備及びその促進に関する施策を推進するため、森林環境譲与税を財源に設置。

■ 災害活動等支援基金

大規模な災害における復興活動等への支援を行うために設置。災害ボランティアによる被災者支援活動、大規模な被害を受けた被災者の生活再建等の財源に充てる。

■ 公共施設等総合管理推進基金

糸島市公共施設等総合管理計画に基づく公共施設等の維持及び整備のために設置。その財源に充てる。

■ 再生可能エネルギー推進基金

再生可能エネルギー等の推進を図るために設置。売電収入等を財源として、発電施設の維持管理・改修等、又は新たな再生可能エネルギー関連事業を行う。

■ 宿泊税基金

観光資源の魅力向上、旅行者の受入環境の充実、その他の観光振興を図る施策を推進するため、福岡県宿泊税交付金を財源に設置。

4 市債の状況等

市債の新規発行については、原則として交付税算入措置のある市債に限定するなど抑制を行っているものの、令和7年度は、小中学校大規模改造事業やごみ処理施設(クリーンセンター)改修事業などの大型事業を予定しているため、市債発行額は、前年度に比べ大幅に増加しています。

令和7年度の市債発行額は、令和6年度見込額より14億9,848万円、64.8%増の38億1,270万円となっています。

また、借入金の返済にあたる令和7年度の元利償還額は、令和6年度見込額より2,687万9千円増の31億5,040万1千円となっています。

(1) 市債発行額の状況(一般会計)

(単位:千円)

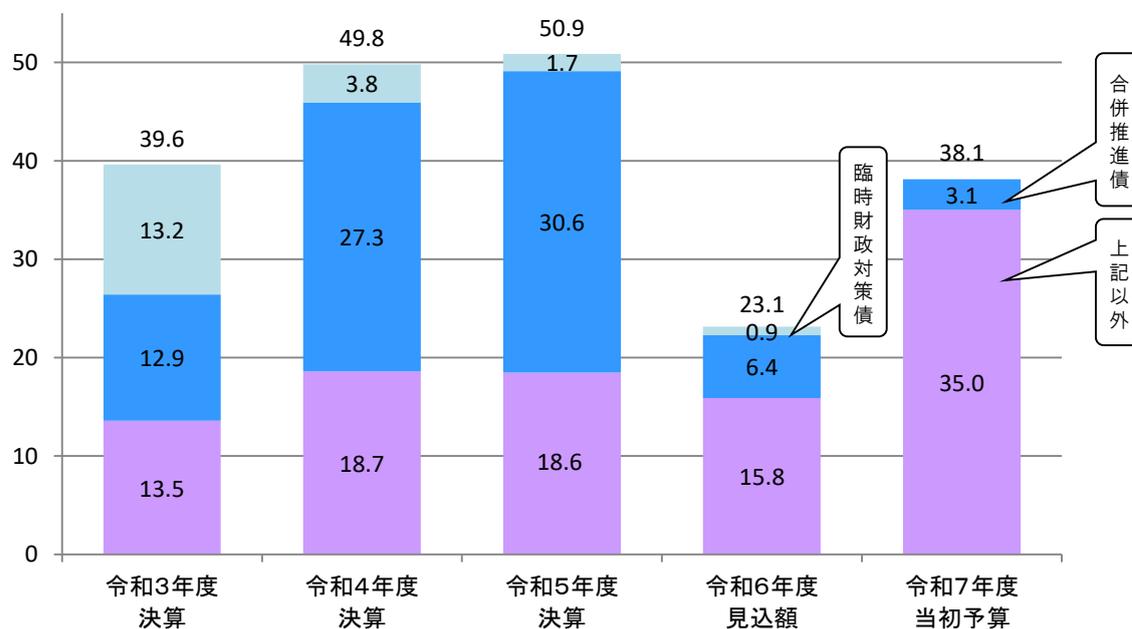
区 分	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 見込額	令和7年度 当初予算
市債発行額	3,961,577	4,978,989	5,085,892	2,314,220	3,812,700
うち臨時財政対策債	1,318,799	384,167	173,592	86,220	0
うち合併推進債	1,285,500	2,734,300	3,063,900	637,900	310,300

※令和7年度市債発行額は、令和6年度繰越に係る地方債の借入予定額を含みます。

※借換等に係るものを除き、公債費については一時借入金利息を除きます。

【市債発行額の推移】

(単位:億円)



臨時財政対策債

地方交付税の振替措置として設けられた特例債で、後年度に元利償還金相当額が交付税算入されます。

合併推進債

合併した市町村が、まちづくり推進のため市町村建設計画に基づいて行う事業等の財源として借入れることができる特例債で、後年度に元利償還金の40%が交付税算入されます。

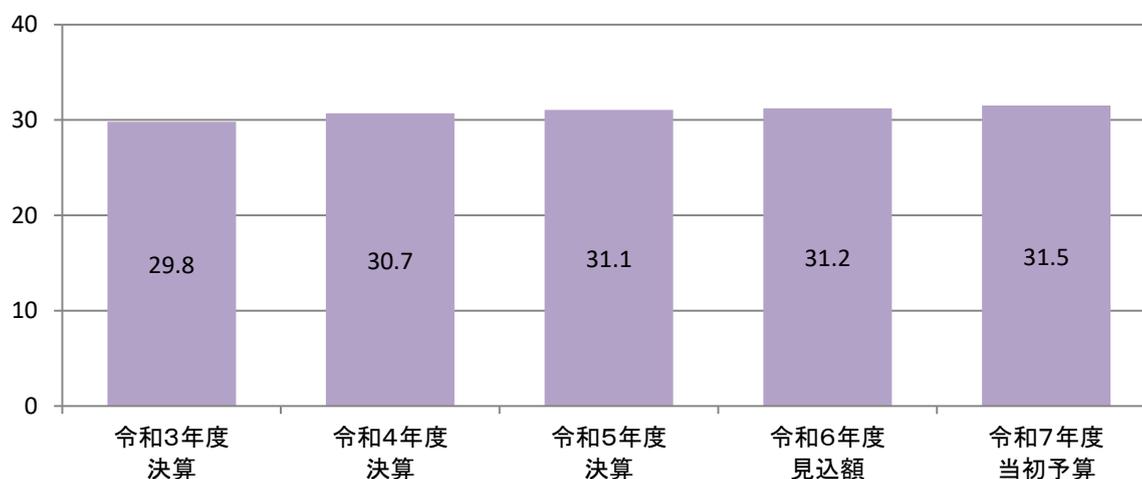
(2) 公債費(元利償還額)の状況(一般会計)

(単位:千円)

区 分	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 見込額	令和7年度 当初予算
公債費(元利償還額)	2,981,687	3,068,349	3,107,388	3,123,522	3,150,401

【公債費の推移】

(単位:億円)



(3) 市債残高の状況(一般会計)

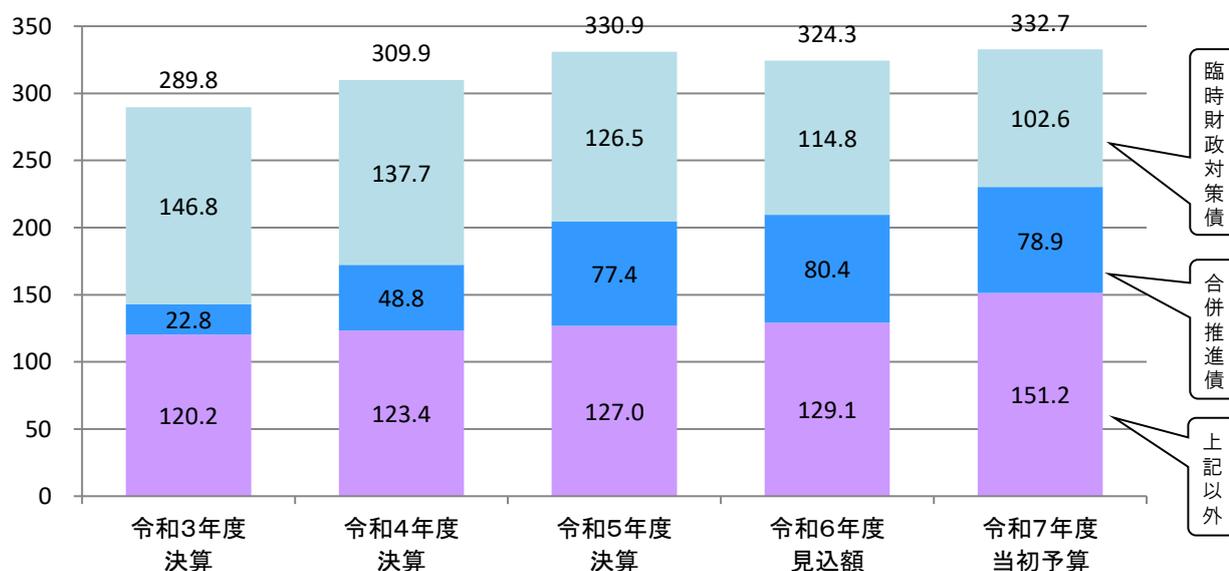
(単位:千円)

区 分	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 見込額	令和7年度 当初予算
市債残高	28,981,091	30,991,600	33,085,454	32,429,692	33,274,874
うち臨時財政対策債	14,678,255	13,768,514	12,652,910	11,480,255	10,256,504
うち合併推進債	2,277,370	4,876,787	7,737,725	8,041,635	7,890,963

※令和7年度市債残高は、令和6年度繰越に係る地方債の借入予定額を含みます。

【市債残高の推移】

(単位:億円)



(4) 会計別市債残高の状況(全会計)

令和7年度当初予算における全会計の市債残高見込みは、令和6年度見込額と比べると3億4,003万6千円、0.7%増の467億4,474万4千円となっています。

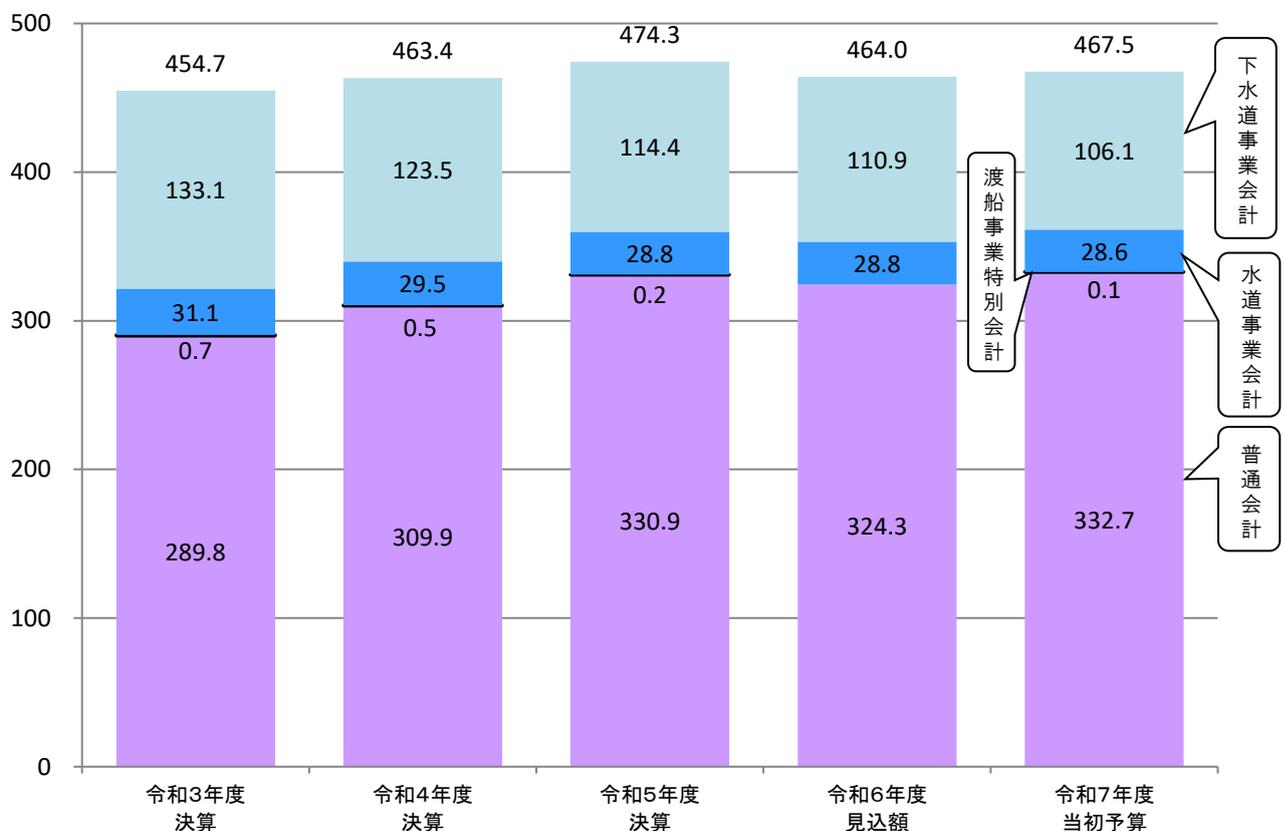
(単位:千円)

会 計 名	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 見込額	令和7年度 当初予算
一般会計	28,981,091	30,991,600	33,085,454	32,429,692	33,274,874
普通会計小計	28,981,091	30,991,600	33,085,454	32,429,692	33,274,874
渡船事業特別会計	72,230	48,177	24,101	0	5,000
水道事業会計	3,105,544	2,950,886	2,884,751	2,877,878	2,856,666
下水道事業会計	13,310,170	12,347,049	11,435,130	11,097,138	10,608,204
合 計	45,469,035	46,337,712	47,429,436	46,404,708	46,744,744

※令和7年度市債残高は、令和6年度繰越に係る地方債の借入予定額を含みます。

【市債残高の推移】

(単位:億円)



5 主な新規・拡充事業

※は新規事業(今回、新たに予算化された事業)

未来社会で輝く子どもを育むまちづくり

	事業名	事業費	所管課	実計P
	小中学校校舎大規模改造事業	14億4,253万円	教育総務課	89, 91, 93, 95 97, 101, 103, 105
※	伊都文化会館照明設備改修事業	3億693万円	文化課	157
	小中学校トイレ改修事業	2億8,988万円	教育総務課	111
	文化財保存整備事業(新町支石墓群)	1億7,201万円	文化課	147
	学校給食費支援事業	1億7,200万円	学校教育課	47, 49
※	障がい児保育支援事業	7,056万円	子ども課	39
	小中学校プール施設整備事業	5,784万円	教育総務課	109
※	子ども医療費助成拡充事業	5,353万円	子ども課、地域福祉課	45
※	部活動地域移行推進事業	2,776万円	学校教育課	63, 65
	外国語指導助手(ALT)配置拡充事業	2,323万円	学校教育課	81
※	こども・子育てで総合相談事業	1,393万円	子育て支援課	51
※	日本語指導通級拡充事業	583万円	学校教育課	73
※	住んでよし 保育士家賃支援事業	504万円	子ども課	43
※	歴史的絵画等修復事業	300万円	文化課	151
※	水泳指導委託調査研究事業	289万円	学校教育課	75
	読書習慣形成・定着支援事業	234万円	生涯学習課	125

人と人がつながり助け合うまちづくり

	事業名	事業費	所管課	実計P
※	姫島高度無線環境整備事業	2億7,040万円	コミュニティ推進課	181
	長糸コミュニティセンター大規模改修事業	1億193万円	コミュニティ推進課	165
※	コミュニティセンター空調設備改修事業	899万円	コミュニティ推進課	163
	女性が輝くミライ事業	233万円	人権・男女共同参画推進課	183

みんなの命と暮らしを守るまちづくり

	事業名	事業費	所管課	実計P
※	水槽付消防ポンプ自動車整備事業	7,561万円	警備課	201
※	消防団ポンプ自動車整備事業	2,617万円	警防課	205
	防災マイスター育成事業	500万円	危機管理課	499
※	福岡都市圏消防通信指令業務共同運用事業	331万円	消防総務課	193

健康で安心して暮らせるまちづくり

	事業名	事業費	所管課	実計P
※	带状疱疹ワクチン定期接種事業	4,198万円	健康づくり課	243
※	障がい者等ワークチャレンジ事業	1,456万円	地域福祉課	255
※	被保護者家計改善支援事業	159万円	福祉保護課	229
※	アピアランスケア拡充事業	108万円	健康づくり課	235
※	いとしまミール推進プロジェクト事業	75万円	健康づくり課	239

ブランド糸島で活気あふれるまちづくり

	事業名	事業費	所管課	実計P
	白糸の滝ふれあいの里改修事業	5,724万円	ブランド政策課	493
※	船越万葉の里公衆便所建替工事事業	2,957万円	ブランド政策課	337
※	地域営農継続支援事業	2,000万円	農業振興課	259
※	漁業経営持続化支援事業	1,250万円	水産林務課	307

快適で住みよいまちづくり

	事業名	事業費	所管課	実計P
	脱炭素推進重点対策加速化事業	1億806万円	環境政策課、公共施設管理課	431
	池田南公園整備事業	1億745万円	都市施設課	359
	浦志有田線整備事業	9,729万円	建設課	369
	前原駅筒井原線ほか2路線道路空間再生事業	6,515万円	建設課	387
※	宮地岳自然公園トイレ更新事業	1,830万円	都市施設課	357
※	次期ごみ処理施設建設計画事業	1,449万円	環境政策課	483
※	交流体験広場遊具更新事業	910万円	農業振興課	361
※	事業所脱炭素化モデルづくり事業	825万円	環境政策課	433

行政経営戦略

	事業名	事業費	所管課	実計P
	新庁舎整備事業	1億648万円	公共施設管理課	467
	新庁舎周辺環境整備事業	5,968万円	公共施設管理課	469
※	公共施設包括管理業務委託事業	3,621万円 ※マネジメント経費分	公共施設管理課	495
※	多機能端末機設置事業	1,143万円	市民課	449

市民交流センターの開館について

1 概要等

- ① 目的：市民によるまちづくりの推進を図るため、市民の様々な活動を支援し、市民の交流を促進するための拠点施設として設置
- ② 名称：市民交流センター
- ③ 位置：糸島市前原西一丁目1番2号
- ④ 利用時間：午前8時30分から午後5時15分まで
- ⑤ 休館日：日曜日
国民の祝日に関する法律に規定する休日
12月29日から1月3日まで
- ⑥ 事業費：約5億9,000万円（令和5～6年度）
（工事費、設計監理委託費、備品購入費等）

2 入居施設（団体等）

7F	機械室
6F	男女共同参画センター ラポール、人権センター、糸島保護区保護司会
5F	会議室
4F	会議室、調理室、多目的室
3F	テレワークセンター、福岡マラソン糸島協会、スポーツ協会、会議室
2F	NPO・ボランティアセンター、ボランティア派遣事業事務局、国際交流協会、ふるさとハローワーク
1F	こども家庭センターいとハピ

3 開館式典について

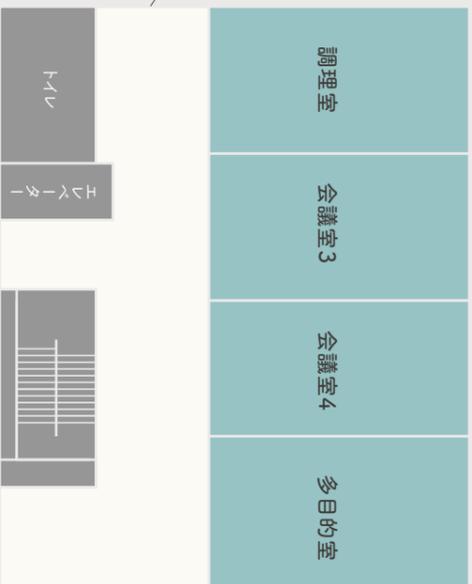
- ①日時 令和7年4月1日（火） 8：30～9：00（受付開始 8：10）
- ②場所 式典：市民交流センター玄関付近（晴天）
市民交流センター5F会議室（雨天）
テープカット：市民交流センター玄関付近
（糸島市前原西一丁目1番2号）

- ③ 出席者 45名
- ・市議会議員（来賓）
 - ・代表監査委員（来賓）
 - ・三役
 - ・関係部署部課長
 - ・入居団体代表
- ④ 式次
- 開式
- 市長挨拶
- 来賓挨拶（代表で市議会議長）
- 来賓紹介
- 施設の紹介
- テープカット（三役、正副議長）
- 閉式

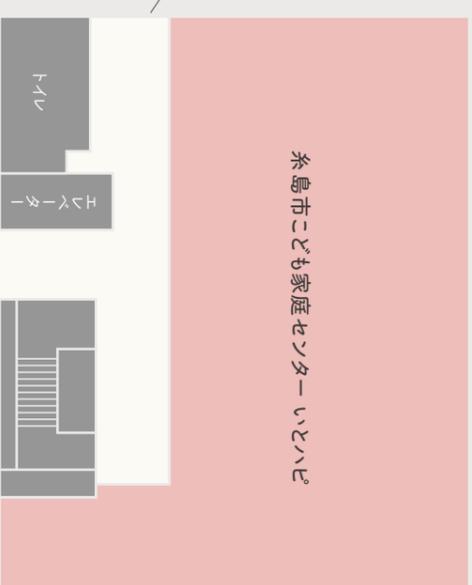
糸島市市民交流センターフロア案内図

略語の説明
 曜 = 開所曜日 時 = 開所時間 問 = 問い合わせ

4階



1階



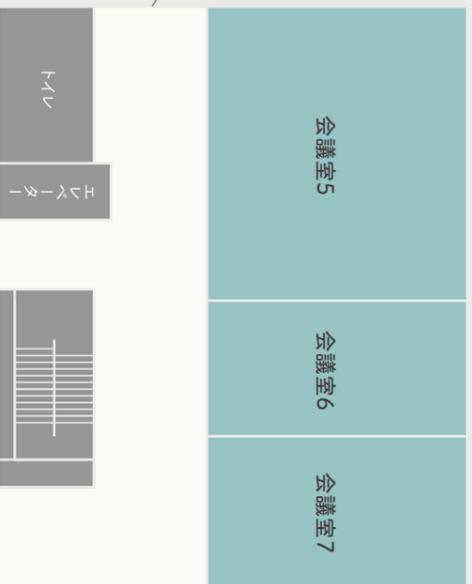
【1階】

- 糸島市子ども家庭センター いとハピ
 曜月～土曜日 ※祝日を除く
 時 8時30分～17時15分
 問 ☎(324)9994
- 受付窓口
 問 ☎(332)2121

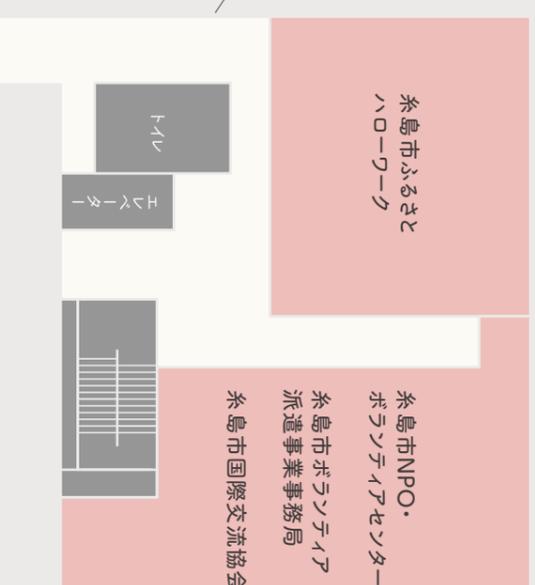
【2階】

- 糸島市ふるさとハローワーク
 曜月～金曜日 ※祝日を除く 時 9時～17時
 問 ☎(321)1610
- 糸島市NPO・ボランティアセンター
 曜火～土曜日 ※祝日を除く 時 9時～17時
 問 ☎(324)9181
- 糸島市ボランティア派遣事業事務局
 曜火・木・金曜日 ※祝日を除く 時 10時～17時
 問 ☎(321)1281
- 糸島市国際交流協会
 曜水～土曜日 ※祝日を除く 時 10時～17時
 問 ☎(332)9166

5階



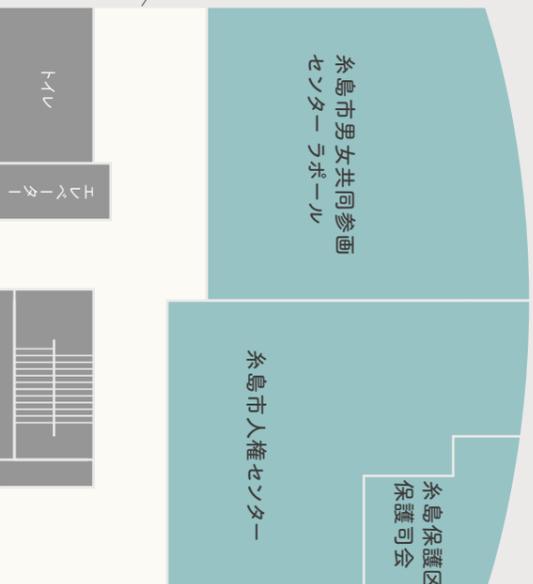
2階



【3階】

- 糸島市テレワークセンター
 曜月～金曜日 ※祝日および指定した日を除く
 時 10時～16時
 問 ☎teleworkcenter@mamatocolab.com
- 福岡マラソン糸島協力会
 曜月・火・木・金曜日 ※祝日を除く
 時 9時～17時
 問 ☎(332)8213
- 糸島市スポーツ協会
 曜月・水・金曜日 ※祝日を除く
 時 9時～17時
 問 ☎(332)8213

6階



【6階】

- 糸島市男女共同参画センターラポール
 曜月～土曜日 ※祝日を除く 時 9時～17時
 問 ☎(324)2800
- 糸島市人権センター
 曜月～土曜日 ※祝日を除く 時 9時～17時
 問 ☎(322)5095
- 糸島保護区保護司会
 曜月～金曜日 ※祝日を除く 時 10時～16時
 問 ☎(323)1755



市民の安全安心を守る！ 「特別救助隊発足式」を開催します！

消防本部では、特別救助隊の発足にあたり発足式を開催します。

特別救助隊とは、人命救助活動を主な任務とする専門部隊です。隊員は、人命救助に関する専門的な知識と技術を有し、火災や交通事故、自然災害などあらゆる災害に出動します。災害現場では、様々な状況に応じて使用する救助資機材を使い分け、迅速で安全な救出活動を行います。

特別救助隊の発足により、市民の皆さんに防災力の強化と安全安心のまちづくりを実感していただくために発足式を開催します。

1. 発足の目的

特別救助隊の発足は、市長公約実現化プランに掲げる取り組みの一つであり、救助技術を高度化することで市民の生命、身体、財産を守り、安全安心のまちづくりを実現し、市の防災力を強化します。

2. 開催日時

令和7年2月26日（水）13：30～14：30

3. 開催場所

糸島市消防本部（前原 1783 番地 1）

4. 開催内容

- ・市長挨拶
- ・特別救助隊概要説明（動画）
（特別救助隊の任務、発足までの訓練等の取組を動画にて紹介します。）
- ・特別救助隊任命式（エンブレム授与）
（市長から救助隊員一人一人にエンブレムが授与されます。）
- ・特別救助隊決意表明
- ・消防長挨拶
- ・記念撮影
（特別救助隊のデザインに更新した救助工作車の車前で記念撮影を実施します。）



特別救助隊
Itoshima city F.D. FUKUOKA

問い合わせ

〒819-1113 糸島市前原 1783 番地 1

糸島市消防本部 消防総務課 担当：吉安

特別救助隊について

1 特別救助隊の編成

特別救助隊は、人命の救助に関する専門的な教育（福岡県消防学校専科教育救助科、消防大学校専科教育救助科）を受けた隊員が3班体制で活動。高度で専門的な知識、技術とあわせて、体力を鍛え、精神力や判断力を錬磨し、あらゆる条件下においてもその力を発揮します。

発足式では、特別救助隊員13人が任命され、任命式以降、特別救助隊として活動を開始します。

2 活動内容

特別救助隊は、火災現場での人命救助活動に加え、交通事故、山岳事故、水難事故、地震等での倒壊事故、大雨等による土砂災害、化学物質等の事故による特殊災害等の人命救助が必要で、特に過酷かつ危険な災害現場に出動します。

また、これらの災害に対し、安全、確実、迅速に活動できるように日々訓練を重ねています。



福岡市消防局消防航空隊のヘリコプターと連携した山岳救助訓練



大雨等による土砂災害を想定した土砂災害対応訓練



【案件6】定例記者会見資料

令和7年2月20日

経済振興部 商工振興課

多彩なスキルを持つ副業プロ人材と共に、次のステージへ

プロ人材の副業活用への伴走支援事業 成果報告会

市では、経営課題の解決やステップアップを目指す商工業者を、主に首都圏の大企業等で働く専門的な知見・経験を持つ副業プロ人材と結び付け、課題解決の過程を伴走支援する事業を実施しています。(令和6年6月25日実施定例記者会見で発表)

このたび当事業を活用した事業者の取り組みを紹介する成果報告会を次のとおり開催します。

日時：令和7年3月24日（月）19：00～20：00

場所：糸島市商工会館（糸島市前原北1丁目1番1号）

内容：パネルディスカッション（活用事業者10社のうち、代表3社が登壇）

※市委託先の㈱カルビンが進行します。登壇事業者は選定中です。

【事業概要】

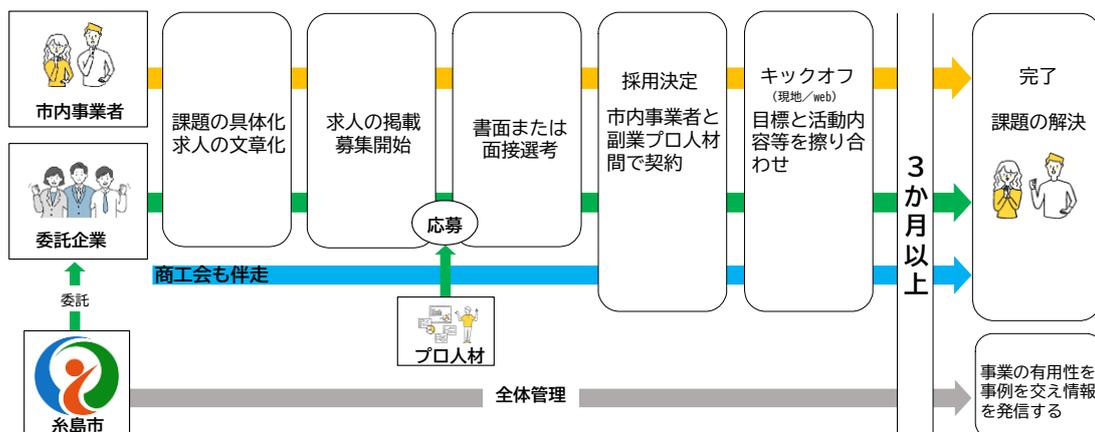
市委託する業者が市内商工業者の課題を洗い出し、その課題を解決しうる大企業等で働く専門的な知見・経験を持つプロ人材等と結び付け、課題解決の過程を伴走支援するものです。

市はその成果を積極的に発信することで、市内企業に「プロ人材の副業活用」を浸透させます。

今年度10社に対し支援を実施。各事業者の課題を人材マッチングサイトに掲載。それぞれの課題に対し平均18名もの応募があり、それぞれ1人のプロ人材を選定しました。

現在、プロ人材と事業者がタッグを組み、二人三脚で課題に取り組んでいます。

【事業の流れ】



10社の市内事業者と
プロ人材の情報はこちら

【問い合わせ先】

糸島市 経済振興部商工振興課商工労働係 担当：中島 中村

電話番号：092-332-2096

メール：shokoshinko@city.itoshima.lg.jp

よみがえる糸島最古の弥生人 新町支石墓群出土人骨の復顔像を公開します!!

第 8 回伊都国フォーラム「よみがえる弥生人—支石墓が語る弥生のはじまり—」の開催について

糸島市文化課では令和 4 年度から糸島市協定大学等課題解決型研究事業による共同研究を行っており、その研究成果をふまえて新町支石墓群 9 号墓出土の頭蓋骨（とうがいこつ）から生前の顔立ちを復元した復顔像を制作しましたので、公開します。

(1) 新町支石墓群 9 号墓出土復顔像の特徴

今回、復顔像を制作するにあたって、舟橋京子准教授（九州大学比較社会研究院）、米元史織准教授（九州大学総合研究博物館）、川久保善智助教（佐賀大学医学部医学科解剖学・人類学分野）の 3 名の方にご協力いただきました。新町支石墓群 9 号墓出土人骨は保存状態がよく、復顔を行うのに適していました。

縄文時代の在来系人骨の特徴として低顔性や眼窩が低い点、鼻根部が深い点などが挙げられます。

9 号墓人骨は縄文時代の在来系人骨と比べて、頬骨の側方への張り出しがやや弱く、低顔性が低い点、眼窩高がやや高い点が指摘され、鼻根部も浅いです。これらの特徴から新町支石墓群に埋葬された人々はすでに渡来的形質を持っていたことを示します。渡来系とされる出土人骨と比べると形質の差はありますが、北部九州の在来系人骨と比べても形質的な差が見られます。以上から、新町支石墓群の集団はすでにある程度混血が進んでいたと考えられ、縄文時代から弥生時代への移り変わりを示す良好な資料です。

(2) 新町支石墓群 9 号墓出土人骨復顔像の公開

① 第 8 回伊都国フォーラム「よみがえる弥生人—支石墓が語る弥生のはじまり—」

会 場：糸島市立伊都国歴史博物館 4 階 研修室（糸島市井原 916）

日 程：1 日目 令和 7 年 3 月 2 日（日）14：00～16：30 分（13：30 から受付開始）

2 日目 令和 7 年 3 月 15 日（土）13：00～16：30 分（12：30 から受付開始）

② 志摩歴史資料館

場 所：志摩歴史資料館（糸島市志摩初 1 番地 3）

期 間：2 月 21 日（金）から公開（ただし、伊都国フォーラム開催日は除く）

時 間：10：00～17：00（入館は 16：30 まで）

休 館 日：毎週月曜（但し、月曜日が祝日の場合は開館し、翌平日が休館）

入 館 料：一般 220 円、高校生 110 円

65 歳以上、中学生以下、障害者手帳等の所持者（付添 1 名）無料

現在、志摩歴史資料館では令和 6 年度企画展「弥生時代ってなんだろう？ みんなで考えるいとしまの考古学」を開催中です。復顔像はこの企画展内で公開します。

伊都国フォーラムについて

糸島市には現在 8 件の国史跡があります。これらの国史跡をテーマに、これまで 7 回にわたり伊都国フォーラムを開催しています。今回は弥生時代の始まりを代表する、国史跡「志登支石墓群」、「新町支石墓群」をテーマとして開催します。

また、8 回目を迎える今回の伊都国フォーラムは 2 日間に分けて開催します。1 回目では、「志登支石墓群」や「新町支石墓群」について、最前線で活躍されている研究者をお招きし、当時の時代背景を含めて弥生時代のはじまりや支石墓にフォーカスをした講演会を行います。

また、2 回目では、新町支石墓群の人骨をメインテーマに 3 名の研究者が講演、トークセッションでは形質人類学と考古学という 2 つの分野から古人骨研究や復顔について語り合います。

概要

- 日 時** 1 日目 令和 7 年 3 月 2 日 (日) 14:00～16:30 (13:30 から受付開始)
2 日目 令和 7 年 3 月 15 日 (土) 13:00～16:30 (12:30 から受付開始)
- 会 場** 糸島市立伊都国歴史博物館 4 階 研修室 (糸島市井原 916)
- 講 師** 1 日目【講演 1】「縄文から弥生へ-弥生のはじまりと糸島-」
宮地聡一郎 (九州歴史資料館 埋蔵文化財調査室 大宰府調査班長)
【講演 2】「支石墓は語る-朝鮮半島との交流と社会-」
端野晋平 (徳島大学埋蔵文化財調査室 准教授)
- 2 日目【講演 1】「弥生時代の人々-顔面部形質と筋骨格ストレスマーカーから再構築する新町遺跡出土人骨-」
米元史織 (九州大学総合研究博物館 准教授)
【講演 2】「復顔のすすめ-新町支石墓群 9 号墓人骨の復顔について-」
川久保善智 (佐賀大学医学部解剖学・人類学分野 助教)
- 【トークセッション】「人骨と復顔-形質人類学と考古学の交差点-」
コーディネーター：舟橋京子 (九州大学比較社会研究院 准教授)
パネリスト：米元史織、川久保善智

定 員 各日 100 人 (要事前申込み)

参加費 無料

申込方法 窓口または電話にて申込み

TEL : 092-322-7083 (伊都国歴史博物館)

【本件に関する問い合わせ先】

地域振興部 文化課文化財係 担当：秋田

TEL：代表 3 2 3 - 1 1 1 1 (内線 1 4 4 5)

直通 3 3 2 - 2 0 9 3

メ-ル：bunka@city.itoshima.lg.jp



新町支石墓群 9号墓出土人骨 復顔像



新町支石墓群 9号墓出土人骨 復顔像(横から)



新町支石墓群 9号墓出土人骨 復顔像(目元アップ)



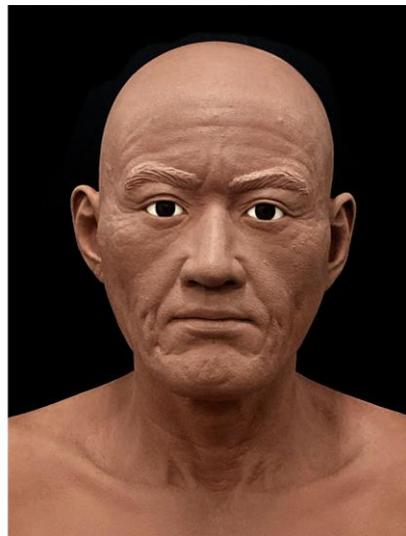
新町支石墓群 9号墓人骨出土状況(昭和 61 年)



新町支石墓群 9号墓頭蓋骨
(九州大学総合研究博物館提供)



復顔像製作過程<川久保助教提供>



デティールアップした復顔像 (眉は仮) <川久保助教提供>

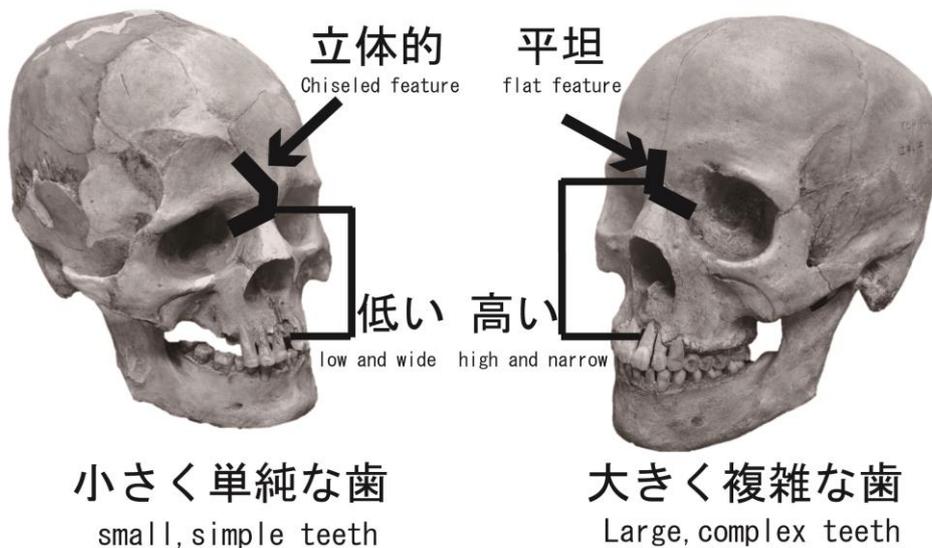
縄文時代人骨

Jomon human skeletal remains

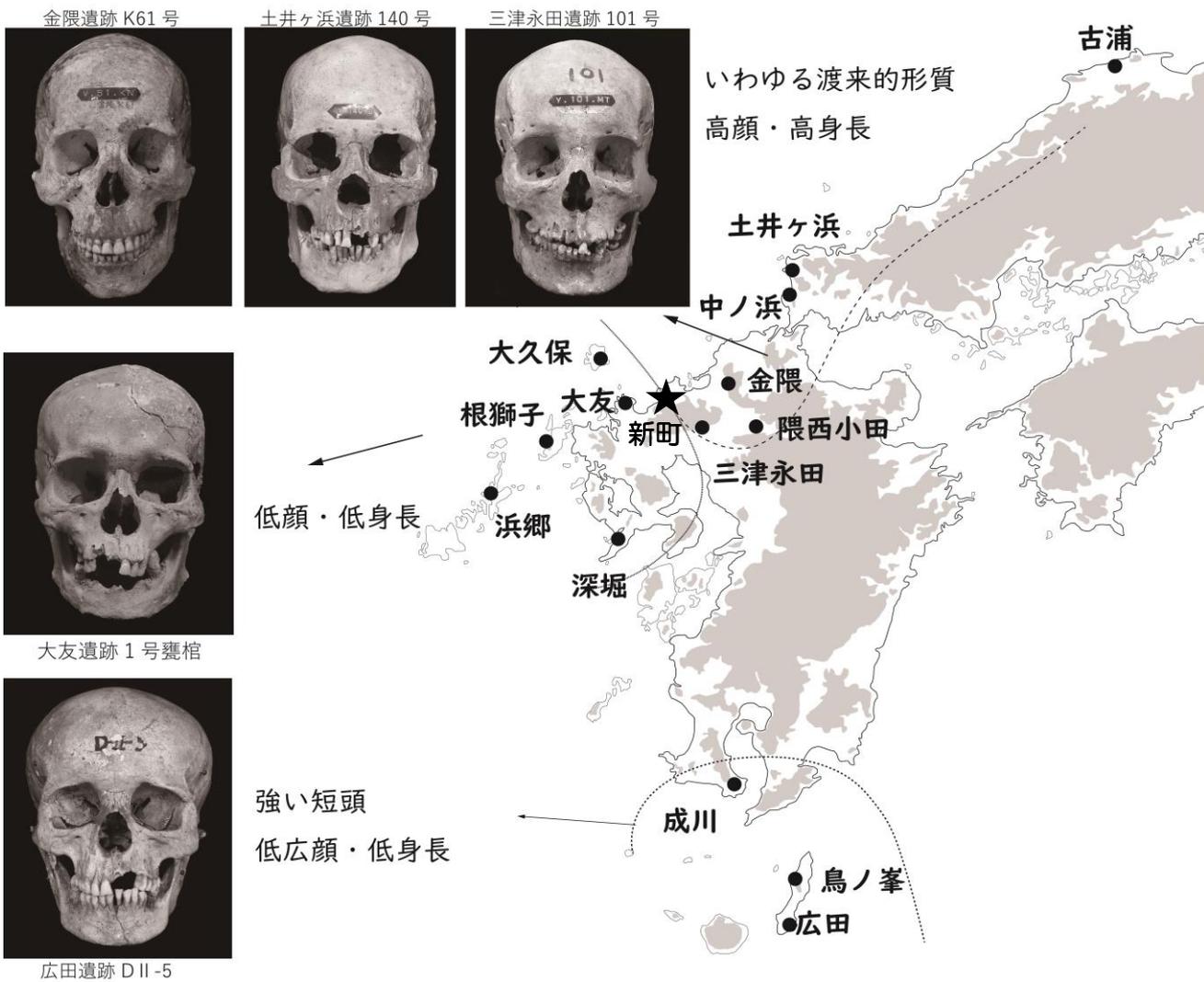
弥生時代人骨

Yayoi human skeletal remains

参考資料



縄文時代人骨と弥生時代人骨の違い（九州大学総合研究博物館提供）



弥生時代における出土人骨の地域性（九州大学総合研究博物館提供の図に一部加筆）

補足資料

国史跡「新町支石墓群」とは

新町支石墓群は、弥生時代早期の支石墓をはじめ、弥生前期から中期の甕棺墓、古墳時代前期の箱式石棺墓が確認されています。昭和 61（1986）年の第 1 次調査では、弥生時代早期に朝鮮半島から伝わった支石墓が発見され、わが国における稲作農耕文化の導入・成立過程や当時の社会状況を探る上で極めて重要な遺跡です。これまで 10 次にわたる調査が行われ、弥生時代早期～前期の支石墓から人骨が多く出土しています。出土人骨は当初、在来的な特徴を持つものとされ、彼らが渡来的な墓制である支石墓を受容したと理解されています。平成 12（2000）年にはその価値が認められ、国の史跡に指定されています。

復顔作業について

復顔するにあたって 3D データを取得し、頭蓋骨の各部位を計測します。その後、3D プリンタで、データを印刷し、模型を作成しました。この模型に様々な分析やこれまでの研究事例などを用いて粘土で筋肉などの肉付けを行っていきます。皮膚まで装着した模型は、博物館の展示品などを制作する会社に送られます。つづいて、製作された模型に、当時の生活環境や推定年齢を考慮しながら皺や眉毛など細部を造形していきます。その後、模型を FRP と呼ばれるプラスチックで型取りを行います。型取りした像に毛髪などの植毛や皮膚のシミなどの彩色を施し、貫頭衣を着せると完成です。

復顔作業に関する有識者によるコメント

川久保 善智(かわくぼ よしのり) 助教

(佐賀大学医学部医学科解剖学・人類学分野)

TEL: 090-1362-6364

令和7年

第1回

3/2

(日)

午後2時～

講演「縄文から弥生へ」
— 弥生のはじまりと糸島 —
宮地 聡一郎

九州歴史資料館 埋蔵文化財調査室
大宰府調査班長

講演「支石墓は語る」
— 朝鮮半島との交流と社会 —
端野 晋平

徳島大学埋蔵文化財調査室 准教授

令和7年

第2回

3/15

(土)

午後1時～

講演「弥生時代の人々」

— 顔面部形質と筋骨格ストレスマーカー
から再構築する新町遺跡出土人骨 —

米元 史織

九州大学総合研究博物館 准教授

講演「復顔のすすめ」

— 新町支石墓群9号墓人骨の復顔について —

川久保 善智

佐賀大学医学部医学科解剖学・人類学分野 助教

トークセッション「人骨と復顔」

— 形質人類学と考古学の交差点 —

コーディネーター

舟橋 京子 九州大学比較社会文化研究院 准教授

パネリスト

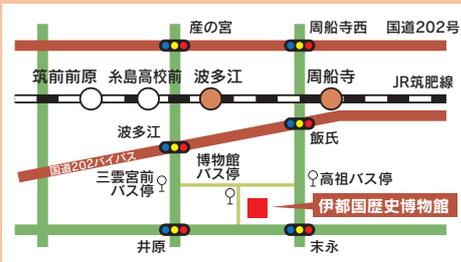
川久保 善智

米元 史織

会場

伊都国歴史博物館

4階 研修室 (糸島市井原916)



お問い合わせ 伊都国歴史博物館
お申し込み ☎ 092-322-7083

令和7年2月11日(火・祝)より
窓口または電話による受付開始

参加無料 (事前に予約が必要です)
参加人数 各回とも100名

よみがえる
弥生人

— 支石墓が語る
弥生のはじまり —



よみがえる弥生人

— 支石墓が語る弥生のはじまり —

最新の研究成果が示す糸島の弥生時代のはじまりとは！

弥生時代の始まりに渡来した支石墓。糸島には多くの支石墓がありますが、その中でも国指定史跡である「志登支石墓群」、「新町支石墓群」は考古学史的にも大変重要な遺跡です。今回のフォーラムでは2日に分け、支石墓やそこから出土した人骨に精通する研究者をお招きし、弥生時代のはじまりや、形質人類学的見地から当時の糸島に住んでいた弥生人について迫っていきます。また、今回は新町支石墓群9号墓から出土した人骨から、当時の顔を復元した像を公開します。

3/2 (日)

14:05～ 講演 1

「縄文から弥生へ — 弥生のはじまりと糸島 —

宮地 聡一郎

(九州歴史資料館埋蔵文化財調査室大宰府調査班長)

立命館大学大学院文学研究科史学専攻博士課程前期課程修了後、(財)大阪府文化財調査研究センター専門調査員を経て福岡県教育庁に入庁。東日本大震災復興事業に係る派遣職員として埋蔵文化財調査に従事。2022年には博士(文学・立命館大学)取得。現在、九州歴史資料館大宰府調査班長として、大宰府史跡の調査研究に携わる。主な著作に『西日本縄文時代晩期の土器形式圏と遺跡群』『考古学講義』(共著)など

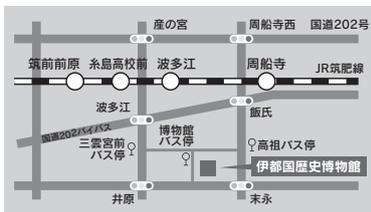
15:15～ 講演 2

「支石墓は語る — 朝鮮半島との交流と社会 —

端野 晋平

(徳島大学埋蔵文化財調査室 准教授)

九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程単位取得退学後、日本学術振興会特別研究員(PD)、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター助教などを経て、現在、徳島大学埋蔵文化財調査室准教授。支石墓のほか、稲作開始期の弥生文化の形成過程などについて研究を行っている。主な著作に『初期稲作文化と渡来人—そのルーツを探る—』など。



■バス

JR筑肥線周船寺駅からコミュニティバス川原線雷山の森行き、伊都国歴史博物館バス停下車徒歩2分。または、「波多江駅西」バス停(JR波多江駅徒歩約3分)からコミュニティバス井原山線井原山行き、伊都国歴史博物館下車。

■車

【福岡市方面から】

九州自動車道福岡インターまたは太宰府インターから福岡都市高速道路経由西九州自動車道今宿インターを降り、国道202号飯氏交差点を左折、約8分。

【唐津市方面から】国道202号波多江交差点を右折、約8分。



お問い合わせ
伊都国歴史博物館
TEL 092-322-7083

3/15 (土)

13:05～ 講演 1

「弥生時代の人々

— 顔面部形質と筋骨格ストレスマーカーから再構築する新町遺跡出土人骨 —

米元 史織

(九州大学総合研究博物館 准教授)

九州大学大学院比較社会文化学府で博士号を取得後、現在は同大学総合研究博物館で准教授を務める。主に骨形態の変異から過去の人々の生業様式・生活様式を明らかにすることをテーマとしている。近年では頭蓋骨の3Dデータによる解析や弥生時代の形質による地域性の再検討を行っている。主な著作に『身体と生存の文化生態』(共著)『骨から探る日本人の起源—九州大学総合研究博物館の古人骨—』(『西日本文化』)

14:15～ 講演 2

「復顔のすずめ — 新町支石墓群9号墓出土人骨の復顔について —

川久保 善智

(佐賀大学医学部医学科解剖学・人類学分野 助教)

東北大学医学部博士課程取得後、鳥取大学の助手を経て現在、佐賀大学医学部医学科解剖学・人類学分野 助教を務める。頭蓋計測値や形態小変異の観察から日本列島住民の地域差、時代変化について研究を行う。また、吉野ヶ里遺跡をはじめとする全国の遺跡から出土した古人骨の復顔を多く手掛ける。

15:30～ トークセッション

「人骨と復顔—形質人類学と考古学の交差点—

コーディネーター

舟橋 京子

(九州大学比較社会文化研究院 准教授)

九州大学大学院比較社会文化研究院博士号取得後、現在は九州大学大学院比較社会文化研究院准教授を務める。東アジア先史社会における儀礼の変化と社会進化段階の関係、葬送行為・親族構造の分析とそれに基づく先史・古代社会の復元について研究を行う。主な著作として『抜歯風習と社会集団—列島先史社会を中心として—』(『儀礼と親族関係』(『古墳時代の親族と地域社会』市民の考古学 18)

パネリスト

川久保 善智、米元 史織

弥生時代

What is the Yayoi period?

ってなんだろう？

みんなで考える **いとしま** の考古学



そもそもどうして「やよい」時代っていうんだろう？



その時代にはどんな人々が暮らしていたの？



支石墓に葬られていたのはどんな人？

令和6年

11月2日(土)

令和7年

3月23日(日)

系島市立 志摩歴史資料館

主催：志摩歴史資料館・系島市

月曜休館 但し11/4、1/13、2/24(月・祝)は開館
11/5、1/14、2/25(火)と年末年始(12/29~1/3)は休館

開館時間 10:00~17:00(入館は16:30まで)

〒819-1312 福岡県系島市志摩初1番地3
Tel: (092)327-4422

入館料：大人220円(団体110円) 高校生110円(団体50円) ※(団体は20名以上)
小中学生/65歳以上/障害者手帳等所持者(付添い1名まで)/無料